

市内福祉施設 各位

横浜市健康福祉局健康安全課長

福祉施設等（高齢者施設を除く）における
新型コロナウイルスワクチン施設接種に係る手続きについて（令和 3 年 6 月以降）

1 趣旨

令和 3 年 6 月以降に実施する、新型コロナウイルスワクチン（以降「ワクチン」という）の施設接種（協力医療機関等が施設に出向いて行う接種）に係る手続きについてご案内します。

※集団接種（市内各区に設置される集体会場での接種）や個別接種（市内医療機関で行う接種）に関しては、接種券や市 Web サイトをご確認ください。

2 接種対象者

令和 2 年度中に 65 歳以上である入所者（1957(昭和 32)年 4 月 1 日より前に生まれた人）

※今後、接種券が 65 歳未満に送付された後は、「全ての入所者」と読み替えてください。

※従事者は高齢者接種期間での接種対象には含まれません。

3 施設接種対象施設

65 歳以上である入所者が入所する福祉施設等（高齢者施設を除く）

①障害者総合支援法による施設等

障害者支援施設（施設入所支援）、共同生活援助（グループホーム）

②生活保護法による保護施設

救護施設、更生施設

③その他社会福祉法等による施設

社会福祉住居施設（日常生活支援居住施設、無料低額宿泊所を含む）、

生活困窮者・ホームレス自立センター、生活困窮者一時宿泊施設、婦人保護施設、矯正施設

4 接種実施医療機関

(1) 敷地内の特定診療所

○保険医療機関コードが無い場合は、「類似コード」の付番が必要です。以下を御確認ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/vaccine.html#4>

○本市接種実施医療機関（サテライト型接種施設）の申請が必要です。以下をご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/vaccine/20210421.html>

(2) 協力医療機関、嘱託医の勤務医療機関等

○医療機関が、本市接種実施医療機関（サテライト型接種施設）の申請を行っていない場合は、先に申請手続きが必要です。以下をご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/vaccine/20210421.html>

○嘱託医等による接種が困難な場合は、添付の「施設接種協力医療機関リスト」を参考にして調整を行ってください。

5 施設接種の流れ ※四角囲み内に役割分担を記載しています。

詳細は、別紙1「新型コロナウイルスワクチン施設接種の手引き」をご覧ください。

(1) 接種予定者の把握 **施設**

施設は、入所者の接種希望や接種場所を把握し、リスト等に記録します。

(2) 接種予定日の調整 **施設と医療機関**

施設と接種実施医療機関の間で、接種数やグループ分け等を検討し、接種予定日を調整します。

※医療機関ごとに月曜～金曜の固定の曜日で配送します。配送曜日を確認の上、接種予定を調整してください。

※サテライト型接種施設の申請を行っていない医療機関については、サテライト型接種施設の決定通知とあわせて配送曜日を医療機関にお知らせします。

(3) ワクチンの要求 **医療機関**

接種実施医療機関から横浜市に、ワクチンの必要数を報告します。

※ワクチンの要求は、専用のWebサイトを使って行います。詳細は、サテライト型接種施設の決定通知とあわせて医療機関にお知らせします。

(4) 接種券、予診票の準備 **施設**

施設が接種当日までに、入所者の**接種券、予診票**を用意します。

※接種券は住民票住所に送付されます。施設外に住民票住所がある場合は、御家族等から転送いただく等御対応願います。

※予診票は、下記厚生労働省HPからダウンロードできますので、適宜使用してください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yoshinhyouetc.html

(5) ワクチンの受取 **医療機関**

接種実施医療機関がワクチンを受け取り、保管します。

【参考】ワクチン保管可能期間

冷凍庫（-15℃～-25℃）での保管：ワクチン到着日を除き13日間保管可能 ←原則

冷蔵庫（2℃～8℃）での保管：ワクチン到着日を除き4日間保管可能

(6) ワクチンの移送 **医療機関**

接種実施医療機関がワクチンを会場に運びます。

(7) 接種の実施 **施設と医療機関**

当日は必要に応じ、医療機関と調整の上、会場設営や経過観察などのご協力をお願いします。

重大な副反応、接種直前の陽性者発生などは、下記担当へ速やかに御一報ください。

(8) 実績報告 **施設及び医療機関**

- ・医療機関：VRS(接種券の読込)、V-SYS(ワクチン収受と使用数入力) [接種の都度実施]
- ・施設：実績報告(日毎の利用者・従事者の数。報告様式は別途お知らせ) [毎月]

6 添付資料

(1) 別紙1 施設接種の手引き

(2) 別紙2 施設接種に関するQ&A

(3) 別紙3 施設接種協力医療機関リスト(令和3年5月)

(4) 別紙4 新型コロナウイルスワクチン集団予防接種アナフィラキシーの初期対応について

横浜市健康福祉局健康安全課

ワクチン接種調整等担当

Tel:045-671-4847、4036

Mail:kf-ssv@city.yokohama.jp

新型コロナウイルスワクチン
高齢者施設等での接種に
関する手引き (1.1 版)

横浜市健康福祉局

令和 3 年 4 月 30 日改訂

・本手引きは、「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き（2.1版）」「予防接種（筋肉注射）における個人防護具の使い方（初版）」「医療従事者のための新型コロナウイルスワクチンを安全に接種するための注意とポイント」のほか、本市における高齢者施設接種シミュレーションや4/12より開始されたワクチン接種を参考に作成しています。

- ・ファイザー社製のワクチンに対応した内容になっています。
- ・今後の検討状況により随時追記され、内容を変更する可能性があります。
- ・接種実施医療機関は、実施にあたり医療機関向け手引きをご一読ください。

① 接種を行う医療機関向けのお知らせ（接種手技の動画やリーフレット等）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_iryokikanheno_oshirase.html

② 厚生労働省 新型コロナワクチンについて

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

③ 厚生労働省が発出する通知・事務連絡

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_notifications.html

①



②



③



改版履歴	発行日	改訂内容
初版	R3. 4. 8	初版
1.1 版	R3. 4. 30	<ul style="list-style-type: none">・ 1 章 施設等での接種に係る事前準備 (P1～2)・ ワクチン配送方法に関して追記 (P7～8)・ ワクチンの保存について、冷凍を推奨 (P10)・ ワクチンが余った場合の対応について追記 (P16)・ 医療法の届出について追記 (P19)・ 陽性者が発生した場合の連絡について追記 (P20～21)・ 全体の大まかな流れについて追加 (P22)

※追記部分は、赤字にしてあります。

1章 施設等での接種に係る事前準備

1 接種実施計画の作成

(1) 接種実施医療機関（以下、「医療機関医療機関」という）との調整

医療機関と施設での接種可否について確認し、実施の方向性が確定した場合は、
(2)以降の準備を進めてください。

実施しない場合は利用者、従事者へその旨を周知し、接種希望者に対して、各自で集団接種や個別接種を受けるよう案内してください。

~~(2) 接種予定者リストの作成（施設での接種を行う場合）※高齢者施設のみ対象~~

~~利用者、従事者に対してワクチン接種の意向を本人や家族等に確認し、接種希望者数を把握するとともに、接種希望者の住民票所在地を確認し、横浜市指定の様式である接種予定者リスト（氏名、~~カナ氏名~~、生年月日、住所等）を作成します。作成後、64歳未満の従事者分接種予定者の部分のみ、リストを横浜市に提出してください。このリストを元に従事者分の接種券又は、接種券付き予診票を作成します。~~

(3) 接種スケジュール作成、調整

医療機関と接種日の調整を行ってください。1回のワクチン配分で希望者全員の接種が難しい場合や施設の運営上一度での接種が難しい場合は、医療機関と調整のうえ、接種希望者のグループ分けが必要です。

ファイザー社ワクチンは冷蔵（2～8℃）で保管する場合、配送日を含めて、5日以内に接種が必要です。冷凍（-15℃～-25℃）で保管する場合は、最長14日間のワクチンの保管が可能です。

なお、接種スケジュールに大幅な影響が出る事例も生じているため、冷凍での保管を推奨します。

（例1）配送翌日から4日以内に接種する場合の例

ワクチン配分量（※）		90（5/12）			
接種希望数		グループA			
		1回目（5/13）	5/14	5/15	5/16
利用者	100	24	24		
従事者	80	12	12	6	12
合計	180	90			

※ 利用者と従事者を同日接種することは必須ではありません。

(例2) 希望者 180 人に対し、90 人分が配分される場合

(配送回数に応じ適宜グループ分けを行ってください。1 バイアルあたり 6 人接種可能なため、グループ分けは 6 の倍数を意識してください。)

ワクチン配分量 (配送日)		90 (5/12)	90 (6/4)	90 (5/19)	90 (6/11)
接種希望数		グループ A		グループ B	
		1 回目 (5/13)	2 回目 (6/5)	1 回目 (5/20)	2 回目 (6/12)
利用者	90	60		30	
従事者	90	30		60	
合計	180	90		90	

(4) 接種券・予診票の準備

・65 歳以上の利用者・~~従事者~~

住民票所在地に接種券と予診票(1 回目分)が送付されるため、接種日までに、施設に届くよう手配してください。

~~・従事者(65 歳未満) ※高齢者施設のみ対象~~

~~接種予定者リストをもとに、市内在住者は接種券、市外在住者は接種券付き予診票を横浜市で準備し、施設へ送付します。なお、市内在住者に関わらず、接種券付き予診票が送付されてきた場合は、本市住民基本台帳と突合できなかつた方となるため、住所、生年月日等に間違いがないか確認してください。~~

~~修正が必要になった場合は、手書き等で対応してください。~~

接種券

	利用者・65 歳以上従事者	65 歳未満従事者
住民票 市内	横浜市が発行、郵送 (5 月中)	横浜市が発行、郵送 ※従事者リストに基づく
住民票 市外	住民票所在地から 取り寄せる	「接種券付き予診票」 横浜市が eメール送付 ※特別様式、予診票と 一体

予診票 (1 回目) ※2 回目は接種実施医療機関から入手

	利用者・65 歳以上従事者	65 歳未満従事者
住民票 市内	接種券に同封 (接種までに記載)	厚労省サイトで入手 (接種までに印刷 記載)
住民票 市外	接種券に同封されていなければ、厚労省サイトで入手 (接種までに印刷・記載)	「接種券付き予診票」 横浜市が eメール送付 ※特別様式、接種券と 一体

2 人員・場所

(1) 人員体制

以下の人員体制を参考に医療機関や施設の状況に応じて体制を組んでください。

ア 予診及び接種担当(1 チーム)

- ① 予診担当 医師：1 名
- ② 接種担当 医師(予診と同じ医師での対応可) 又は看護師：1 名
- ③ 薬液充填及び接種補助担当 看護師又は薬剤師：1 名

イ 経過観察、その他

- ① 接種後の状態観察担当：必要人数（看護師等の医療従事者が望ましい。介護従事者等でも可能）
- ② 検温、記録、予診票確認、接種済証の発行等をする事務職員：必要人数

（参考）利用者接種シミュレーションの風景



医師1名：予診、接種
看護師2名：接種補助等

事務1名：接種済証の発行等
従事者数名（利用者に応じて）：経過観察

(2) 接種場所

- ・インフルエンザ等のワクチン接種を基本に、共有スペースや居室等で実施
- ・接種後、15～30 分間経過観察を行う必要があるため、共有スペース等にて、一定程度、集まって実施することが望ましい。



食堂等の共有スペースを活用
(各テーブルを接種チームが
巡回して接種)

※予診から接種まで、15分で8名程度
(シミュレーション時の計測)



居室での接種
(居室ごとの経過観察の
人員配置が必要)

従事者接種シミュレーションの風景



経過観察スペースにベッドや救急物品を準備しておくで安心です。

3 物品

(1) 横浜市から配送されるもの

- ア ワクチン本体
- イ 接種用注射針、シリンジ
- ウ 希釈用注射針、シリンジ
- エ 希釈用生理食塩水

(2) 医療機関等で準備するもの

ア 医療機関から高齢者施設等へ移送で用いるもの

- ① 要件を満たす保冷バッグ（バッグ、保冷剤、バイアルホルダーのセット）外気温 35℃で、12 時間以上 2℃～8℃を維持できるもの
※数量に限りはありますが、横浜市から貸与等が可能な場合があります。
- ② 軍手（ワクチン本体が冷凍移送されるため、軍手等を装着し、取り扱う必要があります。）

イ 予診等で用いるもの

- ① マスク（医療従事者用）
- ② 使い捨て手袋
- ③ 体温計
- ④ 使い捨て舌圧子（必要に応じて）

ウ 接種で用いるもの

- ① 消毒用アルコール綿（アルコール過敏症の被接種者用にクロルヘキシジン等のアルコール以外の消毒綿も用意すること。）
- ② トレイ
- ③ 医療廃棄物容器、針捨て容器
- ④ 手指消毒剤

エ 救急用品（代表的な物品の例）

- ① 血圧計、静脈路確保用品、輸液セット、生理食塩水
- ② アドレナリン（エピネフリン）（※）、抗ヒスタミン剤、抗けいれん剤、副腎皮質ステロイド剤等の薬液

※救急用品として具備するアドレナリン（エピネフリン）製剤については、病院等においては、原則としてアンプル製剤（ボスミン®注 1mg）又はシリンジ製剤（アドレナリン注 0.1%シリンジ「テルモ」）によることを想定している。特設会場等については、自己注射薬（エピペン®注射液 0.15mg/0.3mg）によることも想定される。

オ 事務用品

ボールペン（赤・黒）、日付印、スタンプ台、はさみ

(3) 救急体制の確認

接種会場においてアナフィラキシー等が発生した場合の救急体制の確認。具体的には救急用品の置き場や使用方法、救護スペースの場所、スタッフの役割分担、初期対応を行う場合の対応方法（搬送先の医療機関の確認を含む。）等をあらかじめ確認すること。

4 ワクチン配分方法《医療機関向け説明》

(1) 配送方法

ワクチンは、配送管理センターから、医療機関に配送されます。

配送は週1回、固定の曜日に行います。医療機関として横浜市のサテライト接種施設の決定をする際、あわせてお知らせします。

(2) 配分の流れ

ア 接種日等の調整、決定（医療機関⇔施設）

イ 医療機関は、各医療機関の配送日に施設分のワクチン希望量をインターネットサイトで入力（配送週の3週前が入力締切となります）

※入力に関する詳細は、医療機関として横浜市のサテライト接種施設の決定をする際、あわせてお知らせします。

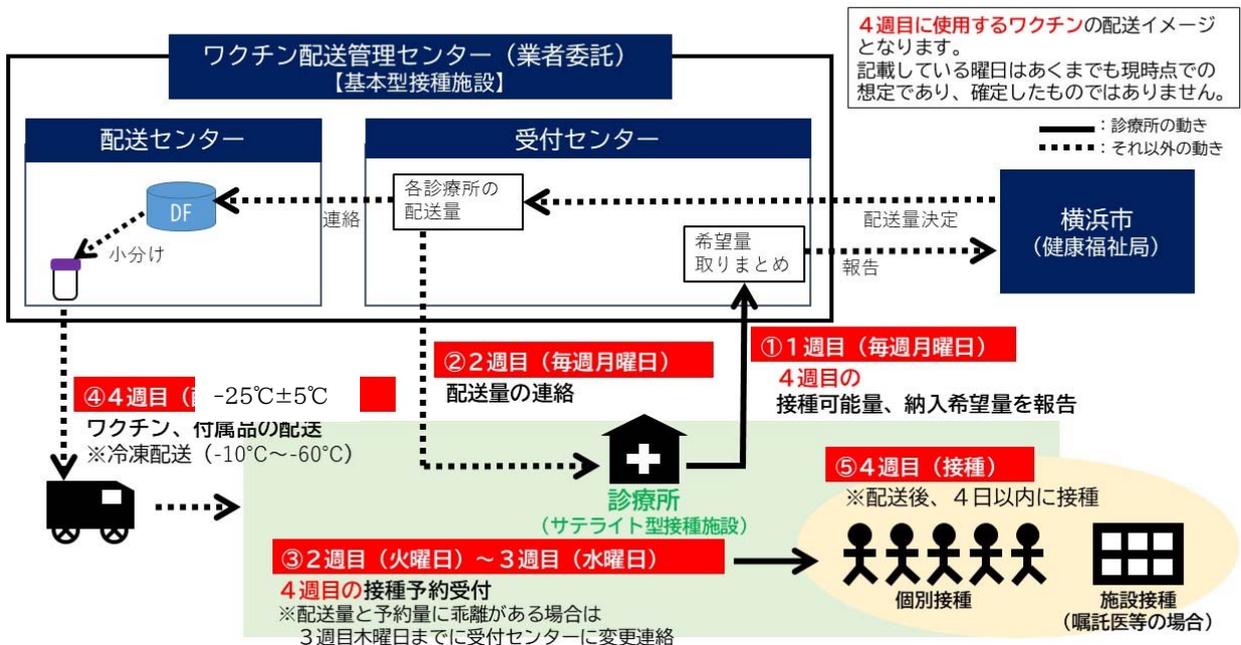
ウ 市で配送量を決定後、配送管理センターから医療機関へワクチン配送量および配送日をメールで連絡（配送週の2週前の水曜日）

※配送量の変更・キャンセルは配送週の1週前の水曜日が入力締切。

エ 医療機関でワクチン、針・シリンジ、希釈用生理食塩水を受領

オ 接種当日、医療機関から施設にワクチン及び付属物品を移送し、接種実施

ファイザー社製ワクチン配送イメージ（診療所での個別接種・施設接種）



月	火	水	木	金	土	日
5/10	5/11	5/12	5/13	5/14 6/1配送分入力 ×切 (3週前金曜)	5/15	5/16
5/17	5/18	5/19 配送日、配送量 連絡(メール) (2週前水曜)	5/20	5/21	5/22	5/23
5/24	5/25	5/26 6/1配送分 変更入力×切 (1週前水曜)	5/27	5/28 配送日、配送量 連絡(リマイン ドメール)	5/29	5/30
5/31	6/1 10バイアル (50人分) 納品	6/2 ← 接種① (25人分)	6/3 冷蔵保管の場合(4日間が使用期限)	6/4 接種② (25人分)	6/5	6/6

5 ワクチン配送・保管・管理《医療機関向け説明》

(1) ワクチンの配送

・-20℃前後の冷凍状態で、保冷バッグに入って配送されます。

(保冷バッグの中には、「バイアルホルダーに収納されたワクチン」「蓄冷剤」「データロガー（温度管理用）」「ロット番号シール」「情報提供シート」「保冷バッグ開封手順」が入っています)



<受領時の注意点>

①配送員は、玄関先で保冷バッグごとお渡しします。

配送員は玄関先で待機していますので、冷凍庫（推奨）もしくは冷蔵庫にワクチンを移した後、保冷バッグ一式を配送員に返却してください。

②バッグを開けると「保冷バッグ開封手順」が入っていますので、内容を確認してから、ワクチンを取り出してください。

③蓄冷剤は超低温のため、軍手で取り出してください。

(2) ワクチン付属品の配送

ワクチンと一緒に、以下の付属品が配送されます。

①ロット番号シール	1 バイアルあたり <u>1シート</u> （6接種分） ^(※)
②0.9%生理食塩水（20ml）	1 バイアルあたり 1本
③接種用注射針	1 バイアルあたり 6本
④接種用シリンジ	1 バイアルあたり 6本
⑤希釈用注射針	1 バイアルあたり 1本
⑥希釈用シリンジ	1 バイアルあたり 1本

^(※) 1接種分として、予防接種済証貼付用の大きいシール1枚と予診票貼付用の小さいシール3枚となります。

①ロット番号シール



1 接種分 (大1、小3)

④シリンジ (注射用)



⑥シリンジ (希釈用)

③⑤注射針 (接種用・希釈用)

②生理食塩水



(3) ワクチンの保存

- ・ワクチンを受け取ったら、以下のとおり適正な温度下で管理してください。
- ・円滑な接種スケジュールを組むためにも、冷凍保管を強く推奨します。
- ・取扱いについては、ファイザー社が発行している「ワクチンの取り扱い (別添)」を参照し、適切に行ってください。

ワクチン保管場所	保管方法	使用可能期間	その他留意事項など
診療所 【サテライト型接種施設】	 冷凍保管 (-25℃~-15℃)	配送日を含め14日間 [冷凍庫から取出した場合] 取出した日を含め5日間 (冷凍保管の日数含め、最大19日間使用可能)	・一回に限り、DFに戻す事が可能 ※希釈後のワクチンは2~30℃で保存
	 冷蔵保管 (2℃~8℃)	配送日を含め5日間	・解凍されたワクチンを再凍結しないこと (冷蔵庫で0℃以下の保管を行ってはならない) ・生理食塩水で希釈後の使用期限は6時間 ※希釈後のワクチンは2~30℃で保存
施設接種のための輸送 (医療機関→高齢者施設)	 保冷バッグで移送 (2℃~8℃) ※徒歩もしくは車	[DFから取出した場合] 取出した日を含め5日間 [冷凍庫から取出した場合] 取出した日を含め5日間 [冷蔵庫から取出した場合] 冷蔵保管を開始した日を含め5日間	<保冷バッグの仕様> ・バッグ、保冷剤、バイアルホルダーのセット 容量10L程度 外気温35℃で12時間以上2~8℃を維持できるもの ・移送時に自転車やバイクの使用は避ける ・移送時はバイアルホルダーで固定 ・移送時間は3時間以内を原則(6時間を超える移送は不可) ・保冷バッグの開閉は2分以内、最大6回(1回開閉した後は30分以上の間隔をあける) ・生理食塩水で希釈後の使用期限は6時間 ※希釈後のワクチンは2~30℃で保存

(4) ワクチンの管理

配送員から、保冷バッグにワクチンと同梱されている、「情報提供シート」（「受渡施設名」「受渡日時」「受渡バイアル数」「受け渡したロット番号」を記載したシート）を受け取ります。

受け取ったワクチンと内容に相違がないか、保管の際は必ず確認をお願いします。

また、(3)の表を参考にして保管したワクチンの冷蔵保管期限を情報提供シートの右側の記入欄に、ワクチンの「使用日」「使用本数」「残り本数」を記録し、管理を行ってください。
※ワクチンを保管している冷蔵庫（冷凍庫）と同じ場所に掲出することを推奨します。



(情報提供シート)

(基本型接種施設記入欄)	(サテライト型接種施設記入欄)																					
基本型接種施設名： _____	冷蔵保管期限：令和 年 月 日 午前・午後 時 分																					
受け渡し先のサテライト型接種施設名： _____	(注) 冷蔵保管期限は、左の「超低温冷凍庫から取り出した時刻」に+5日して記入すること。(例：超低温冷凍庫から取り出した時刻が4月1日午前10時の場合、使用期限は4月6日午前10時になる。)																					
受け渡した日付： 令和 年 月 日	<table border="1"><thead><tr><th>使用日</th><th>使用本数</th><th>残り本数</th></tr></thead><tbody><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></tbody></table>	使用日	使用本数	残り本数																		
使用日	使用本数	残り本数																				
超低温冷凍庫から取り出した時刻： 令和 年 月 日 午前・午後 時 分																						
受け渡したバイアル数： _____ 本																						
受け渡したロット番号（製造番号）： _____																						

2章 接種

1 接種当日の流れ

(1) 会場設営（平時のワクチン接種を参考に）

- ・受付、待機場所
- ・予診、接種ブース
- ・経過観察スペース

を確保し、椅子等の什器を準備する。

※参考資料（3～4ページ）も参考にしてください。

(2) 着衣の準備

接種部位（上腕の三角筋）を露出させやすい服装に整える。

(3) 検温、血圧測定等

接種予定者の検温、血圧測定（必要に応じて）

(4) 予診票の事前確認

記入漏れ、既往歴等の確認（要観察者の抽出）

(5) 接種準備（協力医または施設看護師等）

ア 薬剤の希釈（以下の手順により、準備）

- ① 保冷ボックス、冷蔵庫等より、バイアルを取り出し、室温下で30分室温下に置き、室温に戻す。
- ② バイアルを上下にゆっくりと10回反転（転倒混和）する。
- ③ 生理食塩液のプラスチックアンプルとワクチンバイアルをアルコール綿で清拭し、希釈用シリンジに1.8mlの生理食塩液を吸引し、バイアル内に注入する。
- ④ 針を抜く前に、空になった希釈用シリンジに空気を1.8ml吸引する。
- ⑤ 生理食塩液を注入したバイアルを上下にゆっくりと白色の均一な液になるまで10回程度反転（転倒混和）する。
- ⑥ 希釈した日時をバイアルのラベルに記入のうえ、室温で保管（6時間以内に使用）

イ 注射器への吸引

- ① 希釈したバイアルから接種量0.3mlの溶液を接種用のシリンジに吸い上げる。接種量に間違いがないか、ダブルチェックを行う。
- ② 接種液を充填したシリンジを医療用パッド等の上に置いてください。

【参考】

接種シミュレーションでは、共有スペースで8名の予診、接種を行いました。

開始から終了までの計測時間は、約15分

さらに経過観察時間も加わりません。

短時間で効率よく接種を進めるためには、予診票等の事前確認が重要です。

チェックするポイントなどは、協力医等に確認し、実施してください。

(6) 予診

接種を行う前に問診、検温及び診察を行い、予防接種を受けることが適当でない者又は予防接種の判断を行うに際して注意を要する者に該当するか否かを調べる。その際に、接種対象者が接種医の名前を確認できるようにすること。



必要に応じて、視診・聴診を実施（必須ではありません）

ア 副反応等に関する説明及び同意

予診の際は、予防接種の有効性・安全性、予防接種後の通常起こりえる副反応やまれに生じる重い副反応、予防接種健康被害救済制度について、新型コロナウイルスの接種対象者又はその保護者がその内容を理解しうるよう適切な説明を行い、予防接種の実施に関して文書により同意を得た場合に限り接種を行うものとする。

※ 意思確認が困難な者に対する予防接種

意思確認が困難な場合であっても、家族や、介護保険施設等に入所している場合は嘱託医等の協力を得ながら本人の意思確認をし、接種についての同意を確認できた場合に接種を行うこと。

イ 接種歴の確認

複数回接種が必要な新型コロナウイルスワクチンを接種する場合、予診を行う医師は、予防接種済証を確認し、過去に接種したワクチンの種類を確認すること。

ウ 接種不相当者及び予防接種要注意者

予診の結果、異常が認められ、以下の接種不相当者に該当する疑いのある者と判断される者に対しては、当日は接種を行わないこと。

- ① 新型コロナウイルス感染症に係る他の予防接種を受けたことのある者で本予防接種を行う必要がないと認められるもの
- ② 明らかな発熱を呈している者（※）
- ③ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者

- ④ 本予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
- ⑤ 上記に該当する者のほか、予防接種を行うことが不適當な状態にある者
※ 明らかな発熱とは、通常 37.5℃以上の発熱をいう。

また、予防接種の判断を行うに際して注意を要する以下の者については、被接種者の健康状態及び体質を勘案し、慎重に予防接種の適否を判断するとともに、説明に基づく同意を確実に得ること。また、接種を行うことができるか否か疑義がある場合は、慎重な判断を行うため、予防接種に関する相談に応じ、専門性の高い医療機関を紹介する等の対応をとること。なお、基礎疾患を有する者については十分な予診を行い、基礎疾患の状況が悪化している場合等については、接種の延期も含め、特に慎重に予防接種の適否を判断する必要があること。

- ⑥ 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者
- ⑦ 予防接種で接種後 2 日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
- ⑧ 過去にけいれんの既往のある者
- ⑨ 過去に免疫不全の診断がされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる者
- ⑩ 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある者
- ⑪ バイアルのゴム栓に乾燥天然ゴム（ラテックス）が含まれている製剤を使用する際の、ラテックス過敏症のある者

妊娠中又は妊娠している可能性がある場合には、本予防接種の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ接種を行うこと。

既感染者については、接種対象から除外せず、事前の感染検査も不要である。

予診の結果、接種を行わなかった場合については、「診察したが接種できない場合」のシールを台紙から剥がして、予診票に貼付して、請求を行う。

接種券付き予診票を持参した医療従事者等に対して、予診の結果、接種を行わなかった場合については、券種欄の「2」と「ワクチン接種」を二重線で削除した上で、欄外に「1」を記入すること。この場合、接種を受けなかった医療従事者等に対して、再度 1 回目の接種を受けるためには、接種券付き予診票の再発行を行う必要があることを伝えること。接種券具体的な請求事務は第 5 章を参照すること。

(7) 接種時の注意点等

ア 接種液

- ① 接種液の使用に当たっては、標示された接種液の種類、有効期限内であること及び異常な混濁、着色、異物の混入その他の異常がない旨を確認する。
- ② 接種液の貯蔵は、生物学的製剤基準の定めるところによるほか、所定の温度が保たれていることを温度計によって確認できる冷蔵庫等を使用する。

イ 接種時の注意 (<https://www.youtube.com/watch?v=rcEVMi20tCY>)

- ① 予防接種に従事する者は、手指を消毒し、非滅菌手袋を着用する。
- ② ワクチンによって、凍結・再凍結させないこと、溶解は接種直前に行い一度溶解したものは直ちに使用すること、溶解の前後にかかわらず光が当たらないよう注意することなどの留意事項があるので、それぞれ添付文書を確認の上、適切に使用すること。
- ③ 接種液の使用に当たっては、有効期限内のものを均質にして使用すること。
- ④ バイアル入りの接種液は、栓及びその周囲をアルコール消毒した後、栓を取り外さないで吸引すること。
- ⑤ 上腕三角筋の接種部位（目安は肩峰から3横指下）を消毒綿で皮膚消毒する。
- ⑥ 片手でペンを持つように注射器を持ち、もう片方の手で消毒した部位の皮膚を軽く広げるように伸展させ、三角筋の外苑に手を添える。
- ⑦ 注射針の刃面を上方に向けて、約90度の角度で刺入する（刺入する深さは皮下脂肪、筋肉の厚さにより異なる）
- ⑧ 電撃痛、放散痛、手先のしびれ等がないことを確認する。
- ⑨ 薬液をゆっくり注入する。
- ⑩ 注入後、消毒綿を刺入部に添えて注射針を抜く。
- ⑪ 接種後は揉まずに軽く押さえる。抗凝固療法を受けている人や血小板減少症または、凝固障害の人は、接種後の出血に注意が必要。最低2分間強めに押さえること。
- ⑫ 使用した注射器、注射針はリキャップせず、分解しないで、そのまますぐに耐貫通性医療用廃棄容器に廃棄する。
- ⑬ 被接種者に終了したことを伝え、異常がないか声をかける。接種後は、必ず手指消毒をし、手袋をしている場合は、手袋をはずして手指消毒をしてから、新しい手袋を着用する。

ウ 被接種者に対して、次に掲げる事項を要請すること。

- ① 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けるよう注意し、又は注意させること。

- ② 接種後、接種局所の異常反応や体調の変化を訴える場合は、速やかに医師の診察を受け、又は受けさせること。
- ③ 被接種者は、ロの場合において、被接種者が医師の診察を受けたときは、速やかに被接種者が居住している（住民票のある）市町村の担当部に連絡すること。
- ④ 被接種者が座位又は仰臥位の状態で接種を行うこと。

エ 予防接種の間違いの報告

接種医は、定期接種を実施する際、予防接種に係る間違いの発生防止に努めるとともに、間違いの発生を迅速に把握できる体制をとり、万が一、誤った用法用量でワクチンを接種した場合や、有効期限の切れたワクチンを接種した場合、血液感染を起こしうる場合等の重大な健康被害につながるおそれのある間違いを把握した場合には、以下の①から⑥までの内容を任意の様式に記載し、被接種者が居住している（住民票のある）市町村に速やかに報告すること。

- ① 予防接種を実施した機関
- ② ワクチンの種類、メーカー、ロット番号
- ③ 予防接種を実施した年月日（間違い発生日）
- ④ 間違いに係る被接種者数
- ⑤ 間違いの概要と原因
- ⑥ 健康被害発生の有無（健康被害が発生した場合は、その内容）

オ ワクチンが余った場合の対応

入所者（65歳以上）~~及び施設従事者~~の接種を行ったうえで、余剰となったワクチンについては、可能な限り無駄なく接種を行っていただく必要があることから、以下のように対応すること。当日キャンセル等も踏まえ、事前に以下の順位に沿って、接種者の選定を行うこと。

- ① 接種日を複数日に分けて実施している場合、次回の日程の対象者を繰り上げて実施
- ② 近隣の高齢者施設等の入所者（65歳以上）
- ③ 併設されている通所サービスの利用者（65歳以上）

※ 上記対応により接種予定者リストに掲載のない方の接種を行う場合は、接種券が手元にない状況となるため、予診票等の処理は、後日、高齢者宛てに接種券が送付された後に行うこと。

- ④ 施設従事者（施設入所者に直接携わらない方）（65歳以上の方を優先）
- ⑤ 65歳未満の高齢者施設等の入所者

※ ④、⑤の方に接種した場合は、リスト等の提出が必要になるため、接種前または接種後に必ず横浜市にご連絡ください。

(8) 接種に当たっての事務

接種時に、予診票に、「接種券」のシール（図の枠囲みの部分）を台紙から剥がして、予診票の所定の欄（図の枠囲みの部分）に貼付する。

また、予診票のワクチン名・ロット番号等の欄に記入を行う。（ワクチンメーカーから送付されるロット番号等が記されたシールを貼付しても差し支えない。）

接種済証に、ワクチンメーカーから送付されるシールのうちQRコードが有る方のシールを貼付し、接種年月日及び医療機関名を記入する（下図の破線の枠囲みの部分）。

接種券付き予診票により接種を実施した場合は、「接種券」のシールは貼付せず、ワクチン名・ロット番号等の欄に記入を行う。

医療機関等においては、接種を受けた者の予診票の控え又は接種券付き予診票のコピーを保管するものとする。その取扱いについては、診療録に準ずるものとし、原則として5年間保存すること。

住民が持参する接種券等のイメージ

The image displays three different types of vaccination certificates. The first is a standard '接種券' (Vaccination Certificate) with fields for vaccine name, lot number, and recipient information. The second is for '診察したが接種できない場合' (Cases where examination was performed but vaccination is not possible), including a QR code. The third is a '新型コロナウイルスワクチン接種済証（臨時）' (Temporary COVID-19 Vaccination Certificate) with a QR code and fields for the date and medical institution name. A red box highlights the QR code area on the first certificate, with an arrow pointing to the '予診票（案）の接種券貼付欄' (Vaccination Certificate Attachment Area on the Draft Medical Record Form).

The image shows a draft medical record form (予診票) for COVID-19 vaccination. A black box highlights the area where the vaccination certificate should be pasted, which is located in the upper right section of the form.

予診票（案）の接種券貼付欄

(9) 接種記録システム（VRS）

ア 概要

ワクチン接種の際に、接種者の情報を国が配布する端末等にて読み取り、一人一人の接種情報が接種記録システムに登録されます。これにより、住所地外での接種状況も含め、逐次で接種状況を把握することができ、様々な問い合わせに対応することが可能となります。

なお、接種会場・ロット番号・医師毎に登録する必要があります。

イ 読み取り方法等

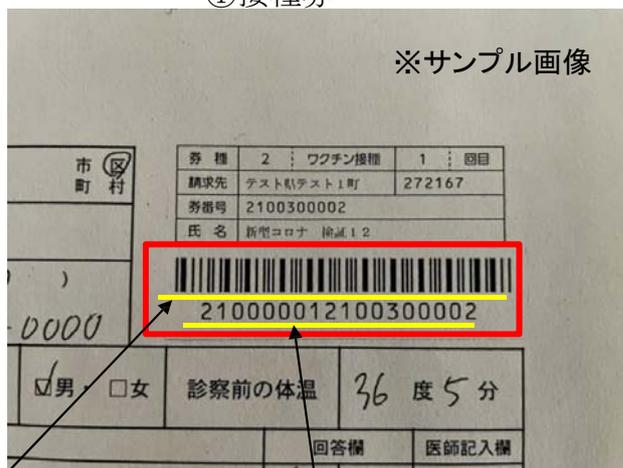
※外箱、タブレット本体・ACアダプタの箱、梱包材など、機器故障や返却時に使用しますので、**捨てずに保管**してください。

①読み取りカメラで、予診票右上に貼られた接種券のOCRラインを読み取ります。

②読み取り面とカメラの距離は、約7.5cm離すとスムーズに読み取れます。

タブレット端末の使い方：https://www.youtube.com/watch?v=ZL_y7L7wCC4

①接種券



②読み取り



バーコード OCRライン (18桁)

(10) 接種後の経過観察

接種が終わった後、アナフィラキシーや血管迷走神経反射等の症状が生じることがあるため、一定期間観察を行うこと。諸外国では、少なくとも15分以上医療機関等において観察を行い、特に過去にワクチン接種でアレルギー症状が出た者やアナフィラキシーの既往がある者については、30分程度、観察を行っている例がある。

※アナフィラキシー対応については、「新型コロナワクチン集団予防接種アナフィラキシーの初期対応について【医療従事者向け】」を参考にしてください。



【参考】経過観察時間15分は白シール、30分は赤シールを手に貼るなど経過観察時の工夫
振り分け（アレルギー有無等）は医師の指示

経過観察時の注意点（アナフィラキシー疑い）

介護従事者等が経過観察を行う際は、次の症状に注意し、日常との様子に違いがあれば、すみやかに医師、看護師へ連絡してください。

【皮膚・粘膜症状】紅斑、蕁麻疹、痒み等

【消化器症状】口、のどのかゆみ、嘔気

【呼吸器症状】咳、鼻汁、くしゃみ

(11) 医療機関での実施内容（ワクチン接種に付随する事務作業等）

ア ワクチン希望量調査

イ ワクチン一時保管（冷凍庫または、2℃～8℃で保管可能な冷蔵庫）

ウ 接種記録（VRS）

エ V-SYS への実績登録

実績入力（高齢者、従事者）

オ 請求

※詳細は、**新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き（2.1版）P55～67**を参照してください。

カ 医療法の届出等の提出

医療機関以外の場所で接種を実施する場合、予防接種の実施状況に応じて、巡回健診又は診療所開設の手続きを行う必要があります。

同一施設で1週間以上連続して実施する場合は、原則として診療所開設の手続きを行います。1週間以上連続しない場合は、巡回健診の手続きを行います。

施設又は施設内の医療機関が接種を実施する場合は、届出等は不要です（介護老人保健施設など）。

① 巡回健診に該当する場合（同一施設で1週間以上連続して実施しない場合）

巡回健診実施計画届出書を事前に提出してください（事前の提出が困難な場合は、新型コロナワクチンの予防接種に限り、事後速やかに提出することも可能です）。

② 同一施設で1週間以上連続して実施する場合

手続きについて事前に横浜市健康福祉局医療安全課に相談してください。

届出書等は、電子申請又は郵送、来庁により提出ください。

《届出等の提出先及び問い合わせ先》

・提出先：横浜市健康福祉局医療安全課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

・問い合わせ先

病院が実施医療機関の場合：045-671-3656

診療所が実施医療機関の場合：045-671-2414

・電子申請及び届出等様式のホームページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/eisei/byouin.html>

2 その他

(1) 新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者が発生した場合の対応

施設接種の計画期間中に、施設内で新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者が判明し、接種スケジュールに影響が出る事象が発生しています。

医療機関と相談等を行い接種計画に変更が生じる場合や、判断に迷う場合は、速やかに次の連絡先に一報をお願いします。

なお、本報告はワクチン対応に係る報告のため、保健所、高齢部には別途所定の様式等で報告してください。

【平日（月～金）の日中】

横浜市健康福祉局健康安全課ワクチン接種等担当（施設接種班）

電話：671-4038 または 671-4847

メール：kf-ssv@city.yokohama.jp

【平日（月～金）の夜間、休日等】

メール：yokohamassv@gmail.com および kf-ssv@city.yokohama.jp

※必ず2つのアドレス宛送付ください。

○メールひな形（不要な個人情報は記載しないでください）

【施設名】

【担当者】

【連絡先】

【コロナウイルス陽性に係る状況】

- ・PCR検査実施（利用者、従事者）
- ・陽性判定あり（利用者、従事者）
- ・濃厚接触者の有無

【陽性判定ありの場合】

- (1) 保健所への届出状況
- (2) 保健所の調査予定

【ワクチン接種に係る事項】

- (1) 医療機関との調整状況
- (2) 接種スケジュールの変更

【ワクチンの配送日程、保管方法】

○メール記載例

【施設名】 ■■■園

【担当者】 横浜太郎

【連絡先】 045-671-4847

【コロナウイルス陽性に係る状況】

・陽性判定あり（利用者）

【陽性判定ありの場合】

(1) 保健所への届出状況

○○区へ届出済（4/24 17：00）

(2) 保健所の調査予定

未定

【ワクチン接種に係る事項】

(1) 医療機関との調整状況

陽性者発生について共有済

(2) 接種スケジュールの変更

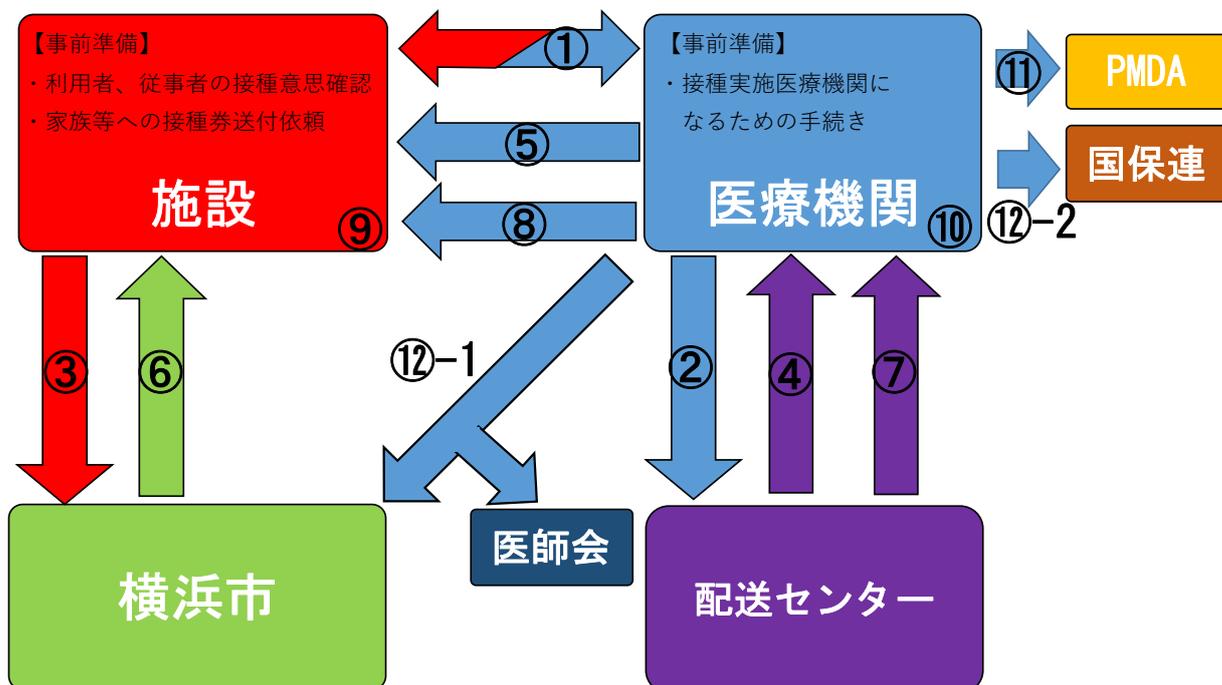
変更なし。予定通り 4/26 に接種実施予定

【ワクチンの配送日程、保管方法】

4/25 受取予定、冷蔵保管

【参考】施設接種の大きな流れ

老健、特養の診療所(V-SYS 登録した場合)は、「医療機関」の部分も読み替えて施設で実施してください。



番号	作業	主体	相手
①	接種日や接種人数(利用者・従事者)の相談	施設	医療起案
②	ワクチンのオーダー	医療機関	配送センター
③	接種予定従事者(64歳以下)リストの送付	施設	横浜市
④	ワクチン配送日の連絡	配送センター	医療機関
⑤	接種実施日の確定の連絡	医療機関	施設
⑥	従事者接種券の発送 住民票市外：メール送付(要印刷) 住民票市内：郵送送付	横浜市	施設
⑦	ワクチンの送付	配送センター	医療機関
⑧	ワクチンの移送、接種実施	医療機関	施設
⑨	VRS(タブレット)による接種券読み込み	医療機関又は施設	-
⑩	V-SYS への入力(ワクチン受領数、使用数など)	医療機関	-
⑪	(該当者がいれば)副反応の報告	医療機関	PMDA
⑫-1	費用請求(住民票横浜市内)	医療機関	横浜市 又は 医師会(加入の場合)
⑫-2	費用請求(住民票横浜市外)	医療機関	国保連合会

6月以降の施設接種に関するQ&A (2021/05/06)

質問	回答
1 接種までに施設で用意するものは (利用者・従事者共通)	接種券と予診票(詳細は下記)をご用意ください。
2 (住民票が横浜市内) 利用者・65歳以上従事者の接種券はどのように用意するか	5月中旬までには住民票上の住所に届きます(1回目分の予診票も同封されます)。家族等に転送してもらうなどして、施設にご用意ください。 →間に合わない場合は、Q7へ
3 (住民票が横浜市内) 65歳未満の従事者の接種券はどのように用意するか	施設から横浜市に送付いただく従事者リストに基づき、接種に間に合うよう、施設にまとめて郵送します。予診票は同封されません(Q8参照)。 なお、お送りする方の引き抜きを行うため、通常の配送スキーム(5月以降を予定)では接種券は発行されません。
4 (住民票が横浜市外) 利用者・65歳以上従事者の接種券はどのように用意するか	市外の住民票上の住所に届きます。家族などに届き次第施設に転送するように依頼して、施設にご用意ください。 →間に合わない場合は、Q7へ
5 (住民票が横浜市外) 65歳未満従事者の接種券はどのように用意するか	施設から横浜市に送付いただく従事者リストに基づき、予診票と接種券が一体化した様式を、横浜市がメールで発行します(利用者とは異なります)。 なお、市外の方の接種に関する報酬は住民票住所の自治体から払われます。その際に住所やお名前の突合を行うため、誤りがあると医療機関を通じて再度施設に確認をすることになります。住民票上の住所を正確に記載していただくようご協力をお願いいたします。 施設内で接種を実施した場合は、住所地に届く接種券は破棄してください。
6 接種券は何に使うのか	①シール状になっており、「接種実施」または「予診のみ」のいずれかのシールを予診票に貼り付けます。シール貼付済の予診票は、接種実施医療機関が市区町村に費用を請求する際に必要になります。 ②接種券側に、ワクチンのロット番号の入ったシールが貼られ、接種済証となります。
7 接種券が手元に届かない場合は接種できないのか。	後日接種券が届いた際にシールの貼付、システムの入力(手順は手引きを参照)などを適切に行う前提で、予診票による意思確認があれば接種自体は可能です。遅くとも医師が請求を行うまで(6月接種の場合は7月10日)には接種券を取り寄せて、医療機関に渡してください。 予診票(による接種の意思確認)は必要です。
8 予診票はどのように準備すればよいか。	住民票が横浜市内の利用者については、1回目接種分は接種券と同封されます。住民票が横浜市外の場合はその限りではないため、厚労省サイトから予診票をダウンロードして、ワクチンの説明書などと一緒にご本人に示すか、ご家族に送付して記載を依頼します。(2回分2枚) また、65歳未満の従事者についても同様です。 新型コロナワクチンの予診票・説明書・情報提供資料(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yoshinhyouetc.html 2回目の予診票は接種実施医療機関から入手してください。
9 予診票について、接種券と同封された3枚複写のものと、厚労省サイトからダウンロード・印刷したものと、どちらを用いれば良いか。	必要事項が記載されていれば、どちらを使っても構いません(転記する必要はありません)。 なお、厚労省サイトからダウンロード・印刷したものは、2部コピーする必要があります。(原本、複写①は医療機関用、複写②は本人控え用)
10 65歳未満の利用者に接種はできないのか	国の方針に基づき、今回送付のワクチンでは接種できません。 65歳未満の方が対象になり次第の接種となります。
11 65歳未満の利用者の接種はいつ、どのように行えばいいのか。	接種券がそれぞれのお手元に届き次第、個別の医療機関や集団接種会場をご予約いただき、そちらに出向いて接種になります。 小分けができるワクチンが普及した場合など、少量のワクチンを、勤務医が施設に持ってきていただける場合は、施設でも接種可能です。
12 本人の意思が確認できない場合はどうしたらいいか。	認知症の高齢者等で意思確認を行うことが難しい場合についても、季節性インフルエンザ等の定期接種と同様、それぞれの状況に応じて、家族やかかりつけ医、高齢者施設の従事者など、日頃から身近で寄り添っている方々の協力を得て、本人の接種の意向を丁寧に酌み取るなどにより本人の意思確認を行っていただくようお願いいたします。
13 余ったワクチンは誰かに接種してよいか	【1回目のワクチンの場合】 (施設接種の手引きより抜粋) 入所者(65歳以上)及び施設従事者の接種を行ったうえで、余剰となったワクチンについては、可能な限り無駄なく接種を行っていただく必要があることから、以下のような対応を取ってください。当日キャンセル等も踏まえ、事前に以下の順位に沿って、接種者の選定を行ってください。 ① 接種日を複数日に分けて実施している場合、次回の日程の対象者を繰り上げて実施 ② 近隣の高齢者施設等の入所者(65歳以上) ③ 併設されている通所サービスの利用者(65歳以上) ※ 上記対応により接種予定者リストに掲載のない方の接種を行う場合は、接種券が手元にない状況となります。そのため、予診票へのシールの貼り付けなどの処理は、後日、高齢者宛てに接種券が送付された後に行ってください。 ④ 施設従事者(施設入所者に直接携わらない方)(65歳以上の方を優先) ⑤ その他の方(65歳未満の入居者等) ※ ④ ⑤の場合はリスト等の提出が必要になりますので、接種後に必ずリストを下記にお送りください。 宛先: kf-ssv@city.yokohama.jp 【2回目のワクチンの場合】 横浜市健康安全課施設接種班にご相談ください(045-671-4847)
14 利用者の家族に確認しておくべき事柄について	・(住民票の住所が施設でない場合) 接種券が自治体から届いたら、施設宛に転送していただきたい。 ・(本人だけでは意思確認が困難な場合) ワクチンの説明書などを読んでいただき、接種に同意するか否かの本人の意思を判断していただきたい。 ・(本人が自署できない場合) 予診票の接種同意欄と代筆者欄に記載をしていただきたい。 ・当日の利用者の体調次第では、接種しないこともあり得ることのお断り
15 郵送の以外の方法で、家族への説明や予診票等の提示はできるか。	厚労省のサイトに掲載があり、それを確認していただけます。Q8参照。
16 1回目の接種の後、入院等の理由で2回目の接種を受けられなかった場合はどうなるか。	3週間目の同じ曜日に接種できなかった場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を行うこととされています。手元の接種券(兼、1回目終了済みの接種済証)を提示して個別の医療機関や集団接種会場で接種していただくことが想定されます。
17 接種ができなかった、しなかった人が後日別の機会に接種を受けるにはどうしたらよいか。	接種券がそれぞれのお手元に届き次第、個別の医療機関や集団接種会場をご予約いただき、そちらに出向いて接種になります。 小分けができるワクチンが普及した場合など、少量のワクチンを、勤務医等が施設に持ってきていただける場合は、施設でも接種可能です。
18 施設でファイザー製ワクチンを保管する場合の注意点は	冷蔵の場合は2～8度(配送日を除き4日間保管可能) 冷凍の場合は-25～-15度(配送日を除き13日間保管可能) 超低温(ディープフリーザー)の場合は-60～-90度(ワクチンの有効期限=製造日からおよそ6か月間保管可能) 上記は温度を確実に保つことのできる機器を想定しています。また、一度冷蔵した場合は、冷凍に戻せません。

■ 6月以降の施設接種に関するQ&A (2021/05/06)

質問	回答
19 ファイザー製ワクチンを複数回に分けて接種する場合の注意点は	1バイアル当たりの接種回数は6回です。各回を6の倍数の人数で接種してください※全体人数の関係で端数が出る最終1バイアル分を除く。 例 106人を3回に分ける場合 (配布されるワクチンは18バイアル108回分になります) × 32人、34人、40人に分けると、6バイアル 6バイアル 7バイアルで 1バイアル不足します。 ○ 36人、36人、34人に分けると、6バイアル 6バイアル 6バイアルで バイアルの過不足はありません。(端数は2回分)
20 2回目のワクチン接種について、必ず1回目から3週間後の同じ曜日ではなくてはいけないのか ※2回目の接種日が祝日など、対応が難しい場合など	一番早くて19日後(木曜日に1回目の接種を受けた場合、3週間後の火曜日)に接種を受けられますが、それより前には受けることができません。 1回目の接種から3週間を超えた場合、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。
21 接種を受ける予定の人が退所→退職した時、接種券はどのように扱えばよいか。	必ず本人にお渡しください。←「接種券付き予診票」が発行されている、住所が市外の従事者を除く 横浜市では後日お送りする予定の接種券から引き抜きをしているため、再送付には再発行手続きが必要になります。 住民票が横浜市外の従事者に発行した「接種券付き予診票(未使用に限る)」は、施設内でしか使えないため、本人に伝えた上で処分していただいても構いません。また、住民票の自治体から後日接種券が送付されるため、接種に支障はありません。
22 入所者のリストは送付しなくてよいのか	送付不要です。 従事者の方のリストは、接種券(又は接種券付き予診票)の発行→送付のために必要です。 (入所者の接種券は、横浜市を含む各市町村がお送りするものをご利用ください。)
23 送付しないのであれば入所者のリストは作らなくてもよいのではないのか	厚労省通知(健健発0128第1号ほか)に基づくものとなりますので、作成をお願いします。 利用者分については、既存のリストに項目(接種方法や接種予定日など)を追加して管理していただいても構いません。
24 (ワクチンの配送を受けた後も含む)何らかの理由で接種の中止や見送りなどを判断した場合はどうすればよいか。	すぐに横浜市健康安全課ワクチン接種調整等担当にご連絡ください。 接種の中止や見送りをする例としては、「陽性者や濃厚接触者が発生した。」などがあります。 【平日】tel 045-671-4847 【土日・祝日】eメール:yokohamassv@gmail.com 及び kf-ssv@city.yokohama.jp
25 複数の施設を兼務する従事者はどうすればよいか。	必ず、1か所の施設から名簿を提出してください。絶対に2か所以上で名簿に載せないでください。
26 複数の施設を利用する高齢者はどうすればよいか。	必ず、接種済証、本人、ご家族に確認し、1か所で接種してください。絶対に2か所以上で接種を受けないようにしてください。
27 接種実施医療機関(サテライト型接種施設)ではなく、施設接種を行う施設にワクチンを配送できないのか。	ワクチンは適正な温度管理等が必要となることから、医療機関であるサテライト型接種施設に配送します。 施設内に診療所を設置し、サテライト型接種施設と同様の保管環境があり、管理上も施設で行うことが適当とサテライト型接種施設(=医療機関)が判断する場合には、個別に横浜市健康福祉局健康安全課施設接種班(671-4036、671-4847)までお問合せください。
28 サ高住や有料老人ホーム等で、これまで定期の予防接種を行っていないがどのように進めたらよいか。	これまで定期の予防接種を行っていない施設においても、感染症対策や、効率的なワクチン接種の推進の観点から施設接種をご検討ください。 利用者が各自で集団接種会場や病院・診療所等での接種を受けることも可能ですが、自力での移動が困難な方でこれらの接種が難しい場合は、施設での接種が有効です。詳しい進め方は「施設接種の手引き」をご確認ください。 接種医療機関が決定していない場合は、添付の「施設接種協力医療機関リスト」をもとに、各施設において依頼を行っていただくようお願いいたします。

施設接種協力医療機関リスト (R3. 5月)

番号	医療機関名	区	所在地	連絡先	施設訪問が可能なエリア
1	ほしの耳鼻咽喉科医院	鶴見区	横浜市鶴見区市場富士見町11-17	045-504-4511	市内全域
2	医療法人Myクリニック Myクリニックあらかき医院	神奈川区	横浜市神奈川区白幡仲町47-25	045-642-6411	市内全域
3	いいじま内科クリニック	神奈川区	横浜市神奈川区泉町2-4 YAOKAN CLINIC BLDG 2階	045-534-8044	市内全域
4	医療法人社団前川メディカルクリニック	西区	横浜市西区北幸1-1-8	045-312-3568	市内全域
5	医療法人社団 香竹会 香取耳鼻咽喉科	西区	横浜市西区藤柳町1-95-1-101	045-350-8741	市内全域
6	横浜リーフみなとみらい健診クリニック	西区	横浜市西区みなとみらい4-6-5	045-651-1571	市内全域
7	ソージュ山下町内科クリニック	中区	横浜市中区山下町31番ベイサイド上田ビル2階	045-264-6590	市内全域
8	医療法人社団光風会 善利クリニック	港南区	横浜市港南区野庭町146-1	045-849-1080	市内全域
9	医療法人湘寿会 湘寿クリニック	港南区	横浜市港南区下永谷4-2-30	045-825-5861	市内全域
10	医療法人社団 緑友会 わかば内科クリニック	旭区	横浜市旭区若葉台4-12-105	045-465-4897	市内全域
11	飛田医院	旭区	横浜市旭区南希望が丘82-12	045-362-6166	市内全域
12	医療法人社団誠医会 篠田医院	金沢区	横浜市金沢区並木3-8-1	045-781-7777	市内全域
13	あおぞら新横浜クリニック	港北区	横浜市港北区篠原町3014-3加祥ビル4F	045-423-8333	市内全域
14	医療法人社団MBS 新横浜国際クリニック	港北区	横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル15階	045-620-9388	市内全域
15	新横浜かとうクリニック	港北区	横浜市港北区新横浜2-6-13, 新横浜ステーションビル8階	045-478-6180	市内全域
16	医療法人社団ゆうあい会 土屋記念クリニック	青葉区	横浜市青葉区新石川1-9-8 アイケビル1階	045-911-3232	市内全域
17	センター南クリニック	都筑区	横浜市都筑区茅ヶ崎中央8-36松本ビルA201	045-943-3700	市内全域
18	医療法人つばさ会 葛が谷つばさクリニック	都筑区	横浜市都筑区葛が谷 4-14	045-945-2772	市内全域
19	しんぼこどものクリニック	都筑区	都筑区中川1-10-33	045-913-0501	市内全域
20	(一社)日本健康倶楽部 横浜支部診療所	瀬谷区	横浜市瀬谷区瀬谷4-5-31 シルバープラザビル2階	045-303-9622	市内全域
21	医療法人社団慶進会 慶宮医院	鶴見区	横浜市鶴見区市場西中町2-2	045-501-5361	鶴見区、港北区、神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区(他区も応相談)
22	医療法人社団健志会 つるみくろーパーククリニック	鶴見区	横浜市鶴見区下末吉6-3-25-102	045-572-1900	鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区、港北区
23	おおたわ消化器内外科	鶴見区	横浜市鶴見区豊岡町13-3 T.Iビル1階	045-581-1691	鶴見区、神奈川区、港北区、都筑区
24	ふくし内科クリニック	鶴見区	横浜市鶴見区駒岡4丁目18番地20号	045-573-7191	鶴見区、神奈川区、港北区
25	ハートクリニック	鶴見区	横浜市鶴見区豊岡町11番15号PATI O7-A101	070-5550-1021	鶴見区、神奈川区、港北区
26	医療法人 朋山会 山田医院	鶴見区	横浜市鶴見区寺谷1-3-2-1F	045-581-3387	鶴見区、神奈川区
27	千葉整形外科リウマチ科医院	鶴見区	横浜市鶴見区豊岡町7-7	045-584-0088	鶴見区、神奈川区
28	井澤耳鼻咽喉科医院	鶴見区	横浜市鶴見区鶴見中央1-26-3 FKビル1F	045-502-0552	鶴見区
29	医療法人社団古賀クリニック	鶴見区	横浜市鶴見区馬場7-30-1	045-582-0261	鶴見区
30	佐藤医院	鶴見区	横浜市鶴見区江ヶ崎町12-19	045-571-4893	鶴見区
31	坂本クリニック	鶴見区	横浜市鶴見区生麦 5-6-2	045-505-0347	鶴見区
32	橋本クリニック	鶴見区	横浜市鶴見区寺谷2-6-16	090-2760-1125	鶴見区
33	医療法人社団恵幸会渡辺医院	鶴見区	横浜市鶴見区潮田町3-133-2	045-501-6457	鶴見区
34	鶴見循環器クリニック	鶴見区	鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルス・ベイサイド1階	045-508-5781	鶴見区
35	天野医院	神奈川区	横浜市神奈川区白幡仲町3-34	045-433-2323	鶴見区、神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区、港北区
36	井関医院	神奈川区	横浜市神奈川区栄町6-1横浜ポートサイドロア2番館1階	045-451-6864	神奈川区、西区、中区、南区、保土ヶ谷区
37	横浜かんだいファミリークリニック	神奈川区	神奈川区神大寺1-13-46神大寺メディカルスクエア	045-491-2020	神奈川区、西区、保土ヶ谷、港北区
38	医療法人社団久遠会 福澤クリニック	神奈川区	横浜市神奈川区片倉1丁目9-3 まるあビル1階	045-548-5752	神奈川区、保土ヶ谷区、港北区
39	牧クリニック	神奈川区	横浜市神奈川区片倉1-16-10ウサミメディカルファインビル3F	045-491-7967	神奈川区、保土ヶ谷区、港北区
40	ココ皮フ科	神奈川区	横浜市神奈川区東神奈川1-29 シアルプラット東神奈川4F	045-548-6555	神奈川区、西区、中区
41	医療法人社団 賢興会 オルト横浜クリニック	神奈川区	横浜市神奈川区新子安1-2-4 オルトヨコハマビジネスセンター1階	045-438-0610	鶴見区、神奈川区、西区
42	有田内科クリニック	神奈川区	横浜市神奈川区大口仲町60-1グレース塩谷1階	045-423-8813	鶴見区、神奈川区
43	おおぐり医院	神奈川区	横浜市神奈川区七島町127-9	045-430-1105	鶴見区、神奈川区

施設接種協力医療機関リスト (R3. 5月)

番号	医療機関名	区	所在地	連絡先	施設訪問が可能なエリア
44	医療法人社団若梅会さかきばらクリニック	神奈川区	横浜市神奈川区白幡向町6-29	045-435-1961	神奈川区、港北区
45	医療法人Myクリニック Myクリニック神戸医院	神奈川区	横浜市神奈川区六角橋4-1-1	045-491-0137	神奈川区、港北区
46	医療法人社団真想会 横浜みなとメディカルクリニック	神奈川区	横浜市神奈川区橋本町2-5-1サンシティみなとみらいEAST1階	045-440-1221	神奈川区
47	はたの東神奈川キッズクリニック	神奈川区	横浜市神奈川区東神奈川2-42-5 ゴールデン東神奈川ビル201	045-451-0111	神奈川区
48	医療法人清貴会 斎田医院	神奈川区	横浜市神奈川区六角橋1-4-3	045-432-2251	神奈川区
49	医療法人社団翠洋会 長谷川医院	神奈川区	横浜市神奈川区神之木町9-6	045-431-1020	神奈川区
50	医療法人社団桐蔭会 佐藤内科診療所	神奈川区	横浜市神奈川区桐畑8-3	045-323-3870	神奈川区
51	医療法人社団HKN横浜ポートサイド中崎クリニック	神奈川区	横浜市神奈川区大野町1-25-3F	045-450-7730	神奈川区
52	今井医院	神奈川区	横浜市神奈川区青木町5-12	090-2448-9336	神奈川区
53	よこはま高島町クリニック	西区	横浜市西区高島2丁目10-32岡村ビル2F	045-444-1117	神奈川区、西区、中区、南区、保土ヶ谷区、戸塚区
54	高島町しらゆり内科クリニック	西区	横浜市西区花咲町6丁目143 横浜MIDベースアネックス2階	045-252-1188	神奈川区、西区、中区、南区、保土ヶ谷区
55	横濱高島診療所	西区	横浜市西区高島2-14-11 第2田浦ビル6F	045-451-1717	神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区
56	医療法人社団宏和会 横浜こどもクリニック	西区	横浜市西区岡野2-5-18 2階	090-9442-7492	神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区
57	医療法人社団仁徳会 生駒医院	西区	横浜市西区東久保町35-20	045-231-5951	西区、南区、保土ヶ谷区
58	医療法人社団アスクレピオス ランドマーク横浜国際クリニック	西区	横浜市西区みなとみらい2-2-1ランドマークプラザ1階	045-224-2111	神奈川区、西区、中区
59	つるおかクリニック	西区	横浜市西区浅間町5-378-7	045-548-6601	西区、保土ヶ谷区
60	医療法人 藤鈴会 鈴木内科クリニック	西区	横浜市西区戸部町5-204	045-231-3355	西区周辺
61	ながともクリニック	西区	横浜市西区楠町7-1 シルエタワヨコハマ1F	045-314-0063	西区
62	横浜東口 中村クリニック	西区	横浜市西区平沼1-2-23 中村ビル1F	045-534-8590	西区
63	川村内科診療所	西区	横浜市西区岡野2-5-18	045-313-5055	西区
64	久保クリニック	西区	横浜市西区北幸2-5-15プレミア横浜西口ビル1F	045-316-2555	西区
65	平沼橋こどもみらいクリニック	西区	横浜市西区平沼2-3-1 ヴェッセル平沼橋102	090-7421-0861	西区
66	医療法人明和会亀田病院	西区	横浜市西区御所山町77番地	045-231-1881	西区
67	三ツ沢ハイタウンクリニック	西区	西区宮ヶ谷25-2-1-111	045-312-0290	西区
68	藤本じゅんいちろうクリニック	中区	横浜市中区長者町5-53横浜伊勢佐木町ワシントンホテルビル1階部分102区画	045-341-0001	神奈川区、西区、中区、南区、保土ヶ谷区、磯子区
69	横濱松宮整形外科リハビリテーションクリニック	中区	横浜市中区曙町2-19-1新井ビル1F	045-251-6411	鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区
70	医療法人 裕清会 両宮クリニック	中区	横浜市中区尾上町5-76 明治屋尾上町ビル5F	045-228-1535	西区、中区、港北区、神奈川区、南区
71	関内クリニック	中区	横浜市中区本町4丁目43番地 A-PLACE 馬車道 3階	045-201-7676	西区、中区、南区、港南区
72	医療法人社団 松樹会 横浜ヘルスケアクリニック	中区	横浜市中区本町6丁目50番1号 横浜アイランドタワー地下1階	045-650-8044	神奈川区、西区、中区、南区
73	医療法人社団豊業会 本牧ベイサイドクリニック	中区	横浜市中区本牧原1-22-1F	090-6532-0615 (伊藤様宛)	中区、南区、磯子区、港南区
74	健仁整形外科・内科	中区	横浜市中区松影町2-8-10	045-641-1701	中区、南区、磯子区、西区
75	誠友クリニック	中区	横浜市中区山下町224-2パークポイント山下町1F	045-264-9267	西区、中区、南区
76	大通り公園クリニック	中区	横浜市中区蓬萊町3丁目113	045-251-7961	西区、中区、南区
77	のげ内科・脳神経内科クリニック	中区	横浜市中区花咲町2-66 桜木町駅前ビル6F	045-251-7700	西区、中区、南区
78	医療法人真正会新妻クリニック	中区	横浜市中区根岸町3-176-39	090-2533-4476	中区、南区、磯子区
79	本牧五番街クリニック	中区	中区本牧原12-1 ベイタウン本牧5番街4F	045-264-9970	鶴見区、中区、磯子区
80	元町マリン眼科	中区	横浜市中区元町4-166	045-319-4271	中区
81	一般財団法人ザ・ブラフ・クリニック ザ・ブラフ・メディカル&デンタルクリニック	中区	横浜市中区山手町82	045-641-6961	中区
82	くまがい内科・脳神経内科クリニック	中区	横浜市中区山下町30-1-302	045-228-9823	中区
83	元町クリニック	中区	横浜市中区竹之丸158-20	045-662-0831	中区
84	医療法人社団 山崎医院	中区	横浜市中区山元町3-142	045-641-5358	中区
85	医療法人創祥会小菅医院	中区	横浜市中区本郷町1-26	045-623-8209	中区
86	医療法人社団 山本内科クリニック	中区	横浜市中区本牧町2-364	045-622-3331	中区

施設接種協力医療機関リスト (R3. 5月)

番号	医療機関名	区	所在地	連絡先	施設訪問が可能なエリア
87	本牧レディスクリニック	中区	横浜市中区本牧和田12番22号ジョイ新本牧203	045-628-3077	中区
88	かめのはしクリニック	中区	横浜市中区石川町3-108-1	045-226-2818	中区
89	陽和クリニック	中区	横浜市中区山下町185番地	045-681-5117	中区
90	本牧クリニック	中区	中区本牧町1-89	045-621-7708	中区
91	医療法人川俣クリニック	中区	横浜市中区麦田町4-107	045-624-2960	中区(本牧地区のみ)
92	あずま医院	南区	南区清水ヶ丘1-21	045-231-7026	神奈川区、西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、磯子区、港北区
93	医療法人みらい みらい在宅クリニック	南区	南区浦舟町2-22 ベイシティコート横浜102	070-6630-0650	西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、磯子区、金沢区、栄区
94	医療法人社団鳳和会 南メディカルクリニック	南区	南区井土ヶ谷中町127-1	045-722-3885	西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区
95	弘明クリニック	南区	南区通町4-84 メルベユ弘明寺2階	045-721-3611	南区、港南区、磯子区
96	公益財団法人明徳会 清水ヶ丘病院	南区	横浜南区清水ヶ丘17	045-231-6714	中区、南区、保土ヶ谷 ※火曜日 午前のみ
97	内田内科クリニック	南区	南区中村町1-1-1アーキヒルズ1F	045-263-1255	南区、中区
98	医療法人社団新東会横浜みのるクリニック	南区	南区別所1丁目13-8	045-722-8655	南区、港南区
99	医療法人社団賢真会みうらクリニック	南区	南区南太田1-29-2 メゾンワイ1F	045-712-0260	南区
100	弘明寺内科	南区	南区大岡2-1-17セサ弘明寺101	045-716-0010	南区
101	医療法人社団青世会 きたがわ内科クリニック	南区	南区井土ヶ谷中町129-6	045-741-2158	南区
102	医)光生会 中村整形外科	南区	南区通町3-53-2	045-713-7101	南区
103	医療法人 一英会 大倉クリニック	港南区	横浜市港南区最戸2丁目15-42 上大岡グリーンハイツB105	045-741-9970	西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、磯子区、金沢区、栄区
104	医療法人彩優会 つかさハートクリニック	港南区	横浜市港南区上永谷2-11-1 いずみプラザ上永谷104	045-846-0888	西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区
105	うるうクリニック港南台	港南区	横浜市港南区港南台3-3-1港南台214ビルB1F	045-374-3973	西区、中区、港南区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区
106	医療法人社団洋光会 いずみ医院	港南区	横浜市港南区丸山台2丁目41-1	090-3594-8424	港南区、磯子区、戸塚区、栄区
107	黒沢クリニック	港南区	横浜市港南区港南台7-42-30 サンライズ港南台201	045-833-9632	港南区、栄区、磯子区
108	医療法人 かわぐち消化器内科	港南区	横浜市港南区港南台5-23-30港南台医療モール3F-D	045-830-5311	中区、港南区
109	おかのうえクリニック	港南区	横浜市港南区港南台5-23-30港南台医療モール2F	045-836-3701	中区、港南区
110	宮川医院	港南区	横浜市港南区上大岡西1-12-17	045-842-0978	南区、港南区(上大岡駅周辺)
111	医療法人社団秀和会 堀越医院	港南区	横浜市港南区大久保2-16-37	045-842-4903	港南区
112	医療法人社団 豊福医院	港南区	横浜市港南区上永谷3-18-16	045-844-2255	港南区
113	ごとう内科クリニック	港南区	横浜市港南区日野5-33-1	045-873-3394	港南区
114	上永谷こう脳神経クリニック	港南区	横浜市港南区丸山台3-2-3サルテーテリニカビル2階	045-374-5447	港南区
115	医療法人社団陽友会 ゆう在宅クリニック	保土ヶ谷区	横浜市保土ヶ谷区今井町827-3	045-351-0063	神奈川区、港南区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区
116	医療法人敬歯会 けいあいクリニック	保土ヶ谷区	横浜市保土ヶ谷区西谷町1018-2	045-370-5361	保土ヶ谷区、旭区、泉区、戸塚区
117	上星川ファミリークリニック	保土ヶ谷区	横浜市保土ヶ谷区上星川3-2-10-202	045-744-5345	保土ヶ谷区(状況によりそれ以外も応相談)
118	医療法人社団伊純会 診療所スカイ	保土ヶ谷区	横浜市保土ヶ谷区常盤台84-2	045-348-2306	保土ヶ谷区
119	医療法人圭信会東川島診療所	保土ヶ谷区	横浜市保土ヶ谷区東川島町15-6	045-373-9899	保土ヶ谷区
120	ときた内科クリニック	保土ヶ谷区	横浜市保土ヶ谷区常盤台55-19	045-744-5525	保土ヶ谷区
121	砂川医院	保土ヶ谷区	横浜市保土ヶ谷区新桜ヶ丘1-26-16	045-351-3111	保土ヶ谷区
122	医療法人明神会 明神台クリニック	保土ヶ谷区	横浜市保土ヶ谷区明神台1-9	045-332-4178	保土ヶ谷区
123	医療法人社団 奏和会 あさひ台クリニック	旭区	横浜市旭区中白根3-1-38	090-7047-8964	旭区、緑区、青葉区
124	医療法人社団 柏町整形外科	旭区	横浜市旭区柏町47-16	090-2745-8365	旭区、泉区、瀬谷区
125	医療法人 たいクリニック	旭区	横浜市旭区鶴ヶ峰2-5-2	045-350-7770	保土ヶ谷区、旭区
126	鶴ヶ峰診療所	旭区	横浜市旭区38番7号 鶴ヶ峰本町1丁目38番7号	045-951-2354	旭区
127	井上医院	旭区	横浜市旭区万騎ヶ原104-11	045-391-1606	旭区
128	医療法人朋良会 大塚クリニック	旭区	横浜市旭区市沢町995-11田口ビル1F	090-3695-2072	旭区
129	医療法人社団心真理 つくしクリニック	旭区	横浜市旭区今宿2-63-14	045-360-0028	旭区

施設接種協力医療機関リスト (R3. 5月)

番号	医療機関名	区	所在地	連絡先	施設訪問が可能なエリア
130	安部医院	旭区	横浜市旭区中沢2-37-2	045-364-2281	旭区
131	医療法人 育真会 大川内科クリニック	旭区	横浜市旭区今宿西町285	045-951-2321	旭区
132	希望が丘いずみクリニック	旭区	横浜市旭区中希望が丘236の19	045-391-0567	旭区
133	医療法人社団梅沢医院	旭区	横浜市旭区東希望が丘81	045-363-5000	旭区
134	オカダ外科医院	旭区	旭区中希望が丘111	045-391-0456	旭区
135	医療法人 秀悠会 きくち医院	旭区	旭区上白根1-8-9	045-954-3234	旭区
136	医療法人社団寿会 板垣医院	磯子区	横浜市磯子区洋光台3-5-31	045-833-6141	南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区
137	医療法人光陽会 関東病院	磯子区	横浜市磯子区森1-16-26	045-754-4178	南区、港南区、磯子区、金沢区
138	医療法人 渋谷医院	磯子区	横浜市磯子区杉田1-1-1 1F	045-771-0627	磯子区、金沢区
139	モンビルクリニック	磯子区	横浜市磯子区東町15-32-204	045-751-7513	中区、磯子区
140	医療法人社団湘南太陽会ねぎし泌尿器科・内科	磯子区	横浜市磯子区東町15-32モンビル横浜根岸2F	045-750-0119	中区、磯子区
141	医療法人みこころ会 今井医院	磯子区	横浜市磯子区岡村3-1-25	045-751-6719	磯子区
142	奥田内科	磯子区	横浜市磯子区洋光台3-1-1 ショップ27 2階	045-830-6161	磯子区
143	洋光台ひろ内科クリニック	磯子区	横浜市磯子区洋光台3-13-1 ピーコックストア2F	045-836-3777	磯子区
144	杉田ファミリークリニック	磯子区	磯子区新杉田町8-8ハマシップモール3階	045-350-2111	磯子区
145	医療法人 小谷医院	金沢区	横浜市金沢区能見台3-7-7	045-773-5551	磯子区、金沢区、栄区
146	能見台こどもクリニック	金沢区	横浜市金沢区能見台通4-8 TKMビル	045-786-2055	港南区、磯子区、金沢区
147	はまと脳神経クリニック	金沢区	横浜市金沢区富岡西7-19-13	045-771-8010	港南区、磯子区、金沢区
148	榑ヶ丘医院	金沢区	横浜市金沢区富岡西1-35-15	045-771-7613	磯子区、金沢区
149	医療法人愛徳会 いけがわ医院	金沢区	横浜市金沢区洲崎町4-3	045-782-8235	金沢区
150	医療法人社団結優会 原田クリニック	金沢区	横浜市金沢区六浦東3-1-27 サウスよこはま2F	045-787-0776	金沢区
151	白石クリニック	金沢区	横浜市金沢区富岡西6-18-25	045-774-7725	金沢区
152	医療法人庄司会 庄司クリニック	金沢区	横浜市金沢区釜利谷東2-16-3 2トリアンジュ文庫3F	045-790-3220	金沢区
153	河合耳鼻咽喉科医院	金沢区	横浜市金沢区富岡東5-20-8 吉川ビル2階	045-773-0133	金沢区
154	医療法人社団志朋会 樹診療所かまりや	金沢区	横浜市金沢区釜利谷西1-2-25	045-353-5015	金沢区
155	グリーン耳鼻咽喉科	金沢区	横浜市金沢区泥亀2-5-1ユニオンセンター1階	045-370-7387	金沢区
156	はやしクリニック	金沢区	横浜市金沢区並木2-10-5	045-785-2000	金沢区
157	あかり木診療所	金沢区	横浜市金沢区金沢町184-192	045-781-8830	金沢区
158	星空クリニック	金沢区	横浜市金沢区釜利谷東3-1-3金沢文庫第2金井ビル3階	045-489-3602	金沢区
159	医療法人社団やまびこ新横浜整形外科リウマチ科	港北区	横浜市港北区3-6-4新横浜千歳観光ビル1-4階	080-7413-3887	港北区、青葉区、都筑区、鶴見区、神奈川区、西区、緑区、中区
160	あい診療所	港北区	横浜市港北区鳥山町1018	080-5569-8789	港北区、青葉区、都筑区(横浜市営地下鉄ブルーラインより徒歩圏内)
161	医療法人すこやか 高田中央病院	港北区	横浜市港北区高田西2-6-5	045-592-5557	港北区、都筑区
162	篠原Kクリニック	港北区	横浜市港北区篠原町1103/パインファースト岸根公園	045-439-6336	神奈川区、港北区
163	なのクリニック	港北区	横浜市港北区仲手原1-26-10	045-710-0045	神奈川区、港北区
164	医療法人向日葵会 日横クリニック	港北区	横浜市港北区日吉本町1-20-16	045-563-4115	港北区
165	山田医院	港北区	横浜市港北区大豆戸町212	045-421-5454	港北区
166	医療法人社団快晴会 北新横浜内科クリニック	港北区	横浜市港北区北新横浜1-2-3-4F	045-533-2235	港北区
167	綱島東口内科・糖尿病内科クリニック	港北区	横浜市港北区綱島東2-2-14 2F	045-633-7737	港北区
168	医療法人社団 南澤医院	港北区	横浜市港北区日吉1-2-16	045-561-5413	港北区
169	アモルクリニック	港北区	横浜市港北区新横浜3-20-3-701	045-577-3888	港北区
170	YOUヒフ科クリニック	港北区	横浜市港北区日吉本町1-21-9 3F	045-561-8300	港北区
171	医療法人社団真心会 三保町内科・循環器クリニック	緑区	横浜市緑区三保町1803-1-102	045-936-0034	旭区、緑区、青葉区、都筑区
172	医療法人社団TOWA長津田ファミリークリニック	緑区	横浜市緑区長津田5-4-1-2F	045-988-2201	緑区、青葉区

施設接種協力医療機関リスト (R3. 5月)

番号	医療機関名	区	所在地	連絡先	施設訪問が可能なエリア
173	医療法人社団宏仁会柴田整形外科	緑区	横浜市緑区中山1-6-1-302	045-935-3880	緑区
174	医療法人社団 佳和会 芦野内科クリニック	緑区	横浜市緑区白山2-3-11カサベルテ横浜1F	045-937-2722	緑区
175	あおいクリニック	緑区	横浜市緑区中山1-6-7 グレースメゾン1階 A	045-935-1133	緑区
176	田口メディカルクリニック	緑区	緑区台村町177-1-1F	045-932-0303	緑区
177	河村内科クリニック	青葉区	横浜市青葉区藤が丘2-31-20	045-507-5255	旭区、港北区、緑区、青葉区、都筑区
178	メディカルクリニック あざみ野	青葉区	横浜市青葉区黒須田33-5	045-978-0455	港北区、青葉区、都筑区
179	医療法人社団藤の会 かない小児科	青葉区	青葉区藤が丘2-6-9 2F	045-509-1640	緑区、青葉区、都筑区
180	なるみや内科	青葉区	横浜市青葉区鴨志田町509-1 中谷都第3ビル2階	070-2181-0310	緑区、青葉区
181	医療法人社団 実芽 田奈クリニック	青葉区	横浜市青葉区田奈町25-7	045-981-7707	青葉区、都筑区
182	松岡医院	青葉区	横浜市青葉区しらとり台20-13	045-981-6093	緑区、青葉区
183	医療法人ヒーリングハート ホワイトレディースクリニック	青葉区	青葉区美しが丘西2-6-2	045-905-1181	青葉区、都筑区
184	たまプラーザいとう泌尿器科	青葉区	青葉区新石川2-2-2 FUJIKYUビル3階	045-910-5115	青葉区、都筑区
185	よしむら内科クリニック	青葉区	横浜市青葉区荻子田1-3-3	045-902-1121	青葉区
186	医療法人松田グループ松田クリニック	青葉区	横浜市青葉区美しが丘西2-6-3	045-909-0130	青葉区
187	医療法人社団善岳会こどもの国安西クリニック	青葉区	横浜市青葉区奈良1-3-5こどもの国KSビル	045-960-5655	青葉区
188	ファミリークリニックあざみ野	青葉区	横浜市青葉区すすき野3-2-13	090-4247-1863	青葉区
189	医療法人薫花会 ふるた内科小児科クリニック	青葉区	横浜市青葉区鉄町57-1	045-979-1301	青葉区
190	まゆみ内科クリニック	青葉区	横浜市青葉区荻田町234-1-1階	045-914-8828	青葉区
191	きくち内科	青葉区	横浜市青葉区市ヶ尾町1167-1	045-532-5941	青葉区
192	小澤クリニック	青葉区	横浜市青葉区美しが丘1-9-1平野ビル2階	045-902-1154	青葉区
193	医療法人直心会 テラス内科クリニック	青葉区	横浜市青葉区新石川2-1-15たまプラーザテラスリンクプラザ3階	①045-910-1170 ②090-5538-7982	青葉区
194	医療法人社団 緑十字クリニック	青葉区	横浜市青葉区あざみ野2-19-10	①045-902-3220 ②080-3750-2449	青葉区
195	えのきがおか内科医院	青葉区	横浜市青葉区榎が丘11-3	045-981-6272	青葉区
196	医療法人社団プラタナス 青葉アーバンクリニック	青葉区	青葉区あざみ野二丁目29番地1 プランズシティあざみ野1階	045-509-1526	青葉区
197	医療法人社団ほがらか会 仲町台駅前まつぶのクリニック	都筑区	都筑区仲町台1-2-20 フロンティアビル202	045-943-3377	港北区、緑区、青葉区、都筑区
198	和久井ペインクリニック	都筑区	横浜市都筑区中川中央1-34-2 S&E わくいビル 201	045-914-7466	港北区、緑区、青葉区、都筑区
199	医療法人社団風和会 港北メディカルクリニック	都筑区	横浜市都筑区大綱町3001-8	045-595-2660	緑区、青葉区、都筑区、瀬谷区
200	医療法人社団慶誠会 ときえだ小児科クリニック	都筑区	横浜市都筑区北山田1-12-15	045-595-4150	港北区、青葉区、都筑区
201	坊クリニック	都筑区	横浜市都筑区中川中央1-31-1-5180	045-911-5355	港北区、青葉区、都筑区
202	医療法人 恭和会 横浜茅ヶ崎老人保健施設	都筑区	横浜市都筑区茅ヶ崎東5-8-7	045-948-1250	港北区、都筑区
203	センター南GOTOクリニック	都筑区	横浜市都筑区茅ヶ崎中央1-2センター南駅光ビル4階	045-532-3508	青葉区、都筑区
204	HAKUプレステケアクリニック	都筑区	横浜市都筑区中川中央1-37-5 ルミナードセンター北2F	045-912-0089	青葉区、都筑区
205	医療法人向日葵センター北駅前クリニック	都筑区	横浜市都筑区中川中央1-28-20	045-910-6222	青葉区、都筑区
206	医療法人社団田園会 デンエンクリニック	都筑区	横浜市都筑区葛が谷 10-8 1階	045-942-3939	都筑区
207	医療法人社団山本記念会 すみれが丘そよかクリニック	都筑区	横浜市都筑区すみれが丘13-3	045-565-9042	都筑区
208	医療法人社団おおくぼ小児科	都筑区	横浜市都筑区仲町台5-2-11	045-941-2276	都筑区
209	医療法人社団神星会 港北ニュータウン診療所	都筑区	横浜市都筑区茅ヶ崎中央17-26ビクトリアセンター南301	045-948-6015	都筑区
210	医療法人財団 ヒューマントラストクリニックすすき	都筑区	横浜市都筑区荻田東4-8-5 プラザ都筑1F	045-948-3306	都筑区
211	サウスウッドこどもクリニック	都筑区	横浜市都筑区茅ヶ崎中央6-1サウスウッド3F	045-942-7700	都筑区
212	医療法人匠光会深澤りつクリニック	都筑区	都筑区中川中央1-28-20 CKビル3F	045-914-4101	都筑区
213	東戸塚ホームケアクリニック	戸塚区	横浜市戸塚区川上町177-1	080-6815-0381	南区、港南区、保土ヶ谷区、金沢区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区
214	医療法人賢仁会 戸塚クリニック	戸塚区	横浜市戸塚区矢部町649	045-864-2110	港南区、保土ヶ谷区、戸塚区、栄区、泉区
215	医療法人紺医会 紺野整形外科	戸塚区	横浜市戸塚区上倉町884-1	045-862-2551	港南区、戸塚区、栄区、泉区

施設接種協力医療機関リスト (R3. 5月)

番号	医療機関名	区	所在地	連絡先	施設訪問が可能なエリア
216	医療法人リファインネット 戸塚南クリニック	戸塚区	横浜市戸塚区上倉田町391-1	045-392-8993	港南区、戸塚区、栄区、泉区
217	医療法人敬生会 十慈堂病院	戸塚区	横浜市戸塚区南舞岡1-23-9	045-823-1010	港南区、磯子区、戸塚区、栄区
218	医療法人瑛鳳会 横浜南まほろば診療所	戸塚区	横浜市戸塚区下倉田町1883 サミット戸塚下倉田店2階	045-866-1551	港南区、戸塚区、栄区
219	医療法人横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立第1病院	戸塚区	横浜市戸塚区戸塚町116	045-864-2501	戸塚区、栄区、泉区
220	医療法人社団楓音会 東とつか整形外科クリニック	戸塚区	横浜市戸塚区品濃町549-6ドムス常盤1F	045-824-3388	港南区、戸塚区
221	東戸塚にしかわクリニック	戸塚区	横浜市戸塚区品濃町549-6 1F	045-820-5010	保土ヶ谷区、戸塚区
222	浜之上耳鼻咽喉科	戸塚区	横浜市戸塚区上倉田町884-6	045-871-4653	戸塚区
223	医療法人吉原整形外科	戸塚区	横浜市戸塚区汲沢町471-3	045-871-8488	戸塚区
224	藤野クリニック	戸塚区	横浜市戸塚区品濃町543-5	045-821-1120	戸塚区
225	医療法人内田会 内田医院Yこどもクリニック	戸塚区	横浜市戸塚区戸塚町8ラピス2ビル1階	045-520-8716	戸塚区
226	久保外科医院	戸塚区	横浜市戸塚区戸塚町2833-58	045-861-2231	戸塚区
227	おおくぼ総合内科クリニック	戸塚区	横浜市戸塚区川上町91-1 モレラ東戸塚3F	045-383-9805	戸塚区
228	医療法人桑樹会 木村内科・胃腸内科	栄区	横浜市栄区小菅ヶ谷1-23-1	①045-894-1281 ②070-6425-0231	港南区、戸塚区、栄区
229	医療法人社団 江口医院	栄区	横浜市栄区飯島町1413	045-891-0067	港南区、戸塚区、栄区
230	医療法人社団 聖仁会 栄聖仁会病院	栄区	横浜市栄区公田町337-1	045-895-0088	港南区、栄区
231	医療法人 若竹クリニック	栄区	横浜市栄区元大橋1-27-5	045-891-6900	港南区、栄区
232	和田医院	栄区	横浜市栄区桂町702	045-893-5200	栄区
233	かみごう医院	栄区	横浜市栄区上之町2-17	045-891-1026	栄区
234	医療法人社団水尾会 みずおクリニック	泉区	横浜市泉区中田南3-9-1ウイステリア館1階	045-805-3081	戸塚区、泉区
235	医療法人順神会 ばんどうクリニック	泉区	横浜市泉区和泉町514-8	045-800-3934	戸塚区、泉区
236	医療法人社団一準会 岡津クリニック	泉区	横浜市泉区岡津町2236	090-5316-9768	戸塚区、泉区
237	緑園こどもクリニック	泉区	泉区緑園2-1-6-201	045-810-0555	戸塚区、泉区
238	板倉医院	泉区	横浜市泉区上飯田町1107-1	045-804-6631	泉区
239	社会福祉法人 横浜市社会事業協会 なごみクリニック	瀬谷区	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-45	045-360-8183	旭区、緑区、泉区、瀬谷区
240	医療法人社団HMC 三ツ境はこだ内科	瀬谷区	横浜市瀬谷区三ツ境6-2三ツ境TKビル2F	045-360-0230	旭区、泉区、瀬谷区
241	耳鼻咽喉科西村医院	瀬谷区	横浜市瀬谷区中央1の10カサデパティオ2階	080-3605-5979	泉区、瀬谷区
242	めぐみ在宅クリニック	瀬谷区	横浜市瀬谷区橋戸2-4-3	045-300-6630	泉区、瀬谷区
243	医療法人和隆 かなた内科クリニック	瀬谷区	横浜市瀬谷区中央6丁目20 マルエツ3階	045-300-3039	瀬谷区

新型コロナウイルスワクチン 集団予防接種 アナフィラキシーの初期対応について

【医療従事者向け】（Ver.1）

2021年（令和3年）4月版
横浜市健康福祉局

1 総論

新型コロナウイルス感染症へのワクチン接種後に生じる重篤な副反応としてアナフィラキシーが報告されている。我が国の予防接種におけるアナフィラキシーの頻度は、例えばインフルエンザ予防接種では10万件当たり0.1～0.2件程度である。それに対し、新型コロナウイルスワクチンのファイザー社『コミナティ筋注』においては、国内医療機関からアナフィラキシーとして報告された件数は350件（4月4日時点）であり、これは10万件当たり約31.9件の割合となり、米国（10万件当たり24.7件（2月12日時点））や英国（10万件当たり1～2件（3月28日時点））より高頻度である。

現在、アナフィラキシーの原因としては、新型コロナウイルスワクチンに含まれているポリエチレングリコール（PEG）が考えられている。

アナフィラキシーは、初期ではその後の進行の速さや重症度が予測できず重篤化する危険があるため、迅速な対応が必要となる。

2 ワクチン接種の対象

（1）接種不適当者

ファイザー社『コミナティ筋注』の接種不適当者

1. 明らかな発熱を呈している者
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
3. 本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者
4. 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

また、下記に該当する場合は 同ワクチンの接種は避けるべき である。

- ◆ 1回目のワクチン接種で重度の過敏症を呈した場合

下記に該当する場合、専門医による適切な評価と十分なアナフィラキシー対応ができる体制のもとでない限り、同ワクチンの接種は避けるべき である。

- ◆ ワクチンの成分、特にポリエチレングリコール（PEG）あるいはPEGと交差反応性があるポリソルベートを含む薬剤に対して重度の過敏症をきたした既往がある場合。（モデルナ社のワクチンにはPEGが、アトラスゼネカ社のワクチンにはポリソルベートが含まれている。）

(2) 接種要注意者

ファイザー社『コミナティ筋注』の接種要注意者(接種の判断に際し、注意を要する者)

1. 抗凝固療法を受けている者、血小板減少症または凝固障害を有する者
2. 過去に免疫不全の診断がなされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる者
3. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者
4. 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したものがある者
5. 過去に痙攣の既往がある者
6. 本剤の成分に対して、アレルギーを呈するおそれのある者

☆ すべての人にはワクチン接種後 **15分間** の状態観察を行うが、アナフィラキシーや、即時アレルギーの既往がある人には、接種後 **30分間** の状態観察を行う。

3 アナフィラキシーの診断基準

アナフィラキシーとは「複数臓器に全身性にアレルギー症状が惹起され、生命に危機を与え得る過敏反応」のことであり、日本アレルギー学会の「アナフィラキシーガイドライン」では以下の3項目のうちいずれかに該当するものをいう。そのうち、ワクチン等原因となりえる物質への曝露後は項目2、3が想定される。

1. 皮膚症状(全身の発疹、掻痒または紅潮)、または粘膜症状(口唇・舌・口蓋垂の腫脹など)のいずれかが存在し、急速に(数分~数時間以内)発現する症状で、かつ下記a、bの少なくとも1つを伴う。



皮膚・粘膜症状

さらに、少なくとも右の1つを伴う



a. 呼吸器症状
(呼吸困難、気道狭窄、喘鳴、低酸素血症)



b. 循環器症状
(血圧低下、意識障害)

2. 一般的にアレルゲンとなりうるものへの曝露の後、急速に(数分~数時間以内)発現する以下の症状のうち、2つ以上を伴う。



a. 皮膚・粘膜症状
(全身の発疹、掻痒、紅潮、浮腫)



b. 呼吸器症状
(呼吸困難、気道狭窄、喘鳴、低酸素血症)



c. 循環器症状
(血圧低下、意識障害)



d. 持続する消化器症状
(腹部疼痛、嘔吐)

3. 当該患者におけるアレルゲンへの曝露後の急速な(数分~数時間以内)血圧低下。



血圧低下

収縮期血圧低下の定義：平常時血圧の70%未満または下記

生後1ヵ月~11ヵ月	< 70mmHg
1~10歳	< 70mmHg + (2 × 年齢)
11歳~成人	< 90mmHg

Simons FE, et al. WAO Journal 2011; 4: 13-37. Simons FE. J Allergy Clin Immunol 2010; 125: S161-81. Simons FE, et al. アレルギー 2013; 62: 1464-500 を引用改変

日本アレルギー学会『アナフィラキシーガイドライン』より引用

☆アナフィラキシーの鑑別診断 鑑別のポイント

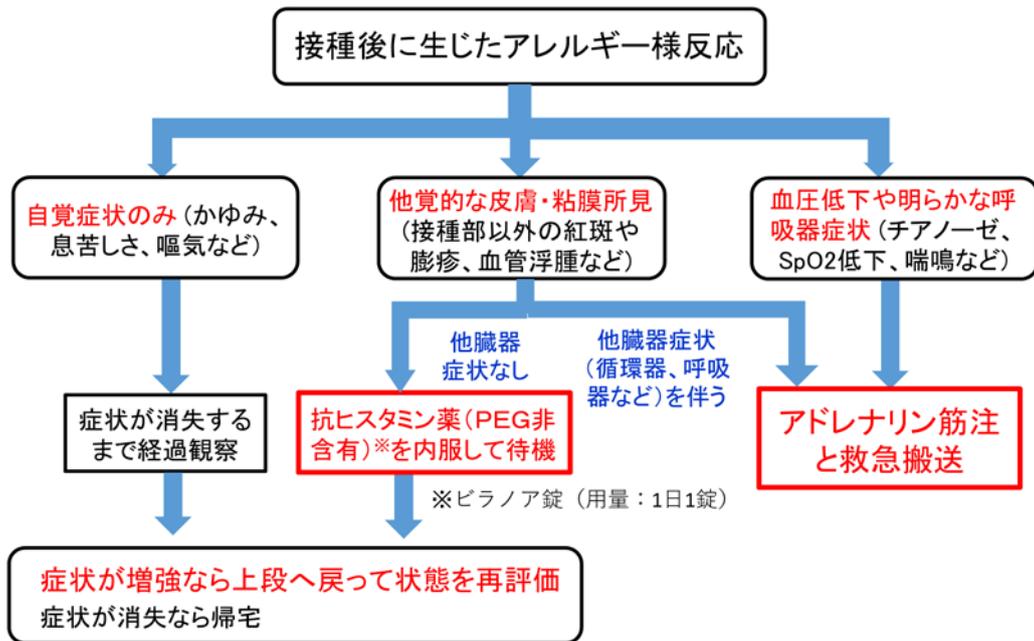
疾患・症状	共通する症状	鑑別ポイント
血管迷走神経性失神	喘鳴、咳嗽、息切れ	持続時間が比較的短く、臥位をとると軽減される。蒼白と発汗を伴い、蕁麻疹、皮膚紅潮、呼吸器症状、消化器症状は生じない。
不安発作 パニック発作	切迫した破滅感、息切れ、 皮膚紅潮、頻脈、消化器症 状	蕁麻疹、血管浮腫、喘鳴、 血圧低下は生じない。
喘息	血圧低下	

アナフィラキシーガイドラインより改変引用

4 アナフィラキシー発生時の初期対応について

ワクチン接種後、アレルギー反応が生じた被接種者には以下のフローを参考に対応する。

図 ワクチン接種後アレルギー反応への対応



各資料の内容より作成

☆原則、設備の整った医療機関に救急搬送を早急に行うことが重要です。
それまでに、必要な処置を実施します。

① バイタルサインの確認

- 循環、気道、呼吸、意識状態、皮膚等の評価をする。

② 助けを呼ぶ

- 看護師、会場責任者などを呼ぶ。医師の判断により、救急搬送の必要性について早期に判断し会場責任者に救急要請を指示。
- 自身での歩行が可能な患者は救急処置スペースへ案内、体動困難な患者はその場での対応となる。

救急搬送

- 救急課や各消防署、医療機関へ集団接種の実施日程について情報共有しており、迅速な医療機関への搬送へつなぐための連携体制をとっている。
- 搬送時には会場内の担当者が救急要請を行うため、搬送の判断となった時には周囲の職員へ伝達していただく。
- 救急車への同乗は原則事務職員が担当する。ただし、患者の状態が非常に不安定な場合は、適宜医師が同乗する。

緊急度の目安

(1) 救急搬送

- 重症なアナフィラキシー症状を示している
 - バイタルサインに異常があり迅速な加療が必要
 - その他緊急性のある症状を示している
- 上記に該当する場合は緊急性があると判断し、救急搬送を要請。

(2) 外来受診

(1)に該当しない場合のうち、

- 会場において状態観察を行っても症状が遷延
 - その他外来受診の必要がある
- 場合はかかりつけ医やその他医療機関の受診を案内する。

(3) 帰宅

(1)(2)に該当せず、状態観察によって症状が改善する場合や症状が軽微である場合は帰宅可能と考えられる。帰宅後副反応を疑う症状が現れた時には病院へ受診するよう説明する。

③ 患者を仰臥位、下肢挙上する

- 原則として立位を避け仰臥位とし、下肢を挙上させる。
- 嘔吐や呼吸窮迫がみられる場合には楽な体位にし、下肢を挙上させる。

④ アドレナリン投与

- アドレナリン筋注は多臓器にわたるアレルギー様症状がある場合や、過去の重篤なアナフィラキシーの既往がある場合、症状の進行が激しい場合などに適応

となる (p5 図参照)。生命の危険がある状態においては、絶対的な禁忌はない。

- アドレナリン血中濃度は筋注後 10 分程度で最高になり、40 分程度で半減する。半減期が短い薬剤であるため、必要に応じて追加投与を行う。
- アナフィラキシーに対するアドレナリンは筋肉内注射であり、決して静脈内投与しないように注意する。

☆ 集団会場にはアドレナリン自己注射薬 (エピペン®)、ボスミン注 1m g を用意しています。(「7 会場に用意している医療資器材」参照)

エピペン®投与方法

- エピペンは簡易に自己注射できるよう設計されているが、実際の使用の際には手間取ることが想像される。そのため、事前に使用方法の動画で講習する必要がある。
- 動画は <https://www.epipen.jp/top.html/> で視聴可能。(【公式】エピペンサイト トップページ>『エピペン注射液を処方された患者様とご家族のためのページ』)

STEP 1 準備

携帯用ケースのカバーキャップを指で開け、エピペン®を取り出します。オレンジ色のニードル(針)カバーを下に向けて、エピペン®のまん中を利き手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップをまっすぐ上に外し、ロックを解除します。



カバーキャップ 安全キャップ

STEP 2 注射

エピペン®を太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードル(針)カバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付けます。太ももに押し付けたまま数秒間待ちます。エピペン®を太ももから抜き取ります。



STEP 3 確認

注射後、オレンジ色のニードル(針)カバーが伸びているかどうかを確認します。ニードル(針)カバーが伸びていれば注射は完了です(針はニードルカバー内にあります)。



オレンジ色のニードル(針)カバー

使用前 伸びた状態 使用後

STEP 4 片付け

使用済みのエピペン®は、オレンジ色のニードル(針)カバー側から携帯用ケースに戻します。



マイラン EPD 合同会社発行『エピペン ガイドブック』より引用

<エピペン®使用時のチェックリスト>

- 携帯用ケースからエピペン®を取り出す
- 青色の安全キャップが浮いていないか、薬液が変色していないかまた沈殿物がないかを確認する
- オレンジ色のニードル(針)カバーを下に向け、利き手で持つ
- もう片方の手で青色のキャップをまっすぐ上に外す
- 本人以外が打つ場合、足が動かないように固定する
- 衣服の上から打つ場合、ポケットの中身を出す
- 太ももの前外側に垂直になるように、オレンジ色のニードル(針)カバーの先端を当てる
- カチッと音がするまで強く押し当て、数秒間待つ
- エピペン®を太ももから離す、オレンジ色のニードル(針)カバーが伸びていることを確認する
- 使用済みのエピペン®を携帯用ケースに戻す

アドレナリン製剤 筋注方法

- 注射部位は大腿部中央の前外側（もしくは上腕三頭筋）である。
- 0.1%アドレナリン製剤（1 mg/1ml）を 0.01 mg/kg（最大成人 0.5 mg、小児 0.3 mg）投与する。

⑤ 酸素投与

- 必要な場合、フェイスマスクか経鼻エアウェイで高流量（6～8L/分）の酸素投与を行う。

⑥ 心肺蘇生

- 必要に応じて胸部圧迫法で心肺蘇生を行う。

☆基本的には、接種会場の現場では、ここまでの対応を行い、救急搬送に備えます。

以下については、必要に応じて実施してください。なお、救急カートには、ステロイド等の薬品が備えてありますので、事前にご確認ください。

⑦ 静脈ルートの確保

- 生理食塩水を 5～10 分間に成人なら 5～10 ml/kg、小児なら 10 ml/kg 投与する。

⑧ バイタルサインの測定

- 定期的に循環、気道、呼吸、意識状態、皮膚等の評価をする。

5 記録について

- アナフィラキシー症状等の対応をした医師は、投与した薬剤や処置等を「救急患者記録用紙」（2枚複写；横浜市用・医療機関用）【別紙1】へ記録する。
- 救急搬送時には、記録用紙の情報をもとに救急隊員への情報提供を行う。
- 救急車へ同乗する際には、搬送先の医療機関へ「救急患者記録用紙」（医療機関用）を提示する。（現場責任者が同乗する時には現場責任者が実施。）

※原本は横浜市で保管する。

6 副反応疑い報告について

- ワクチンの接種後に生じうる副反応を疑う事例について、予防接種法第12条に基づき報告しなければならないとされている。
- 会場内で該当患者の対応をした医師は「予防接種後副反応疑い報告書」を作成する。
- 報告の対象となる症状は以下の通りである。

○アナフィラキシー（ワクチンとの関連によらず、接種後4時間以内に発生した場合。）
○医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、以下に該当するもの
（予防接種との関連性が高いと医師が認める期間に発生した場合。）

- ・入院治療を必要とするもの
- ・死亡、身体の機能の障害に至るもの
- ・死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの

ワクチン接種との因果関係が示されていない症状も含め、幅広く評価を行うため、以下の症状についても報告を積極的に検討する。

：けいれん、ギラン・バレー症候群、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、血小板減少性紫斑病、血管炎、無菌性髄膜炎、脳炎・脳症、関節炎、脊髄炎、心筋炎、顔面神経麻痺、血管迷走神経反射（失神を伴うもの）

（厚生労働省ホームページ『新型コロナワクチンの副反応疑い報告について』より引用）

- 救急搬送となった患者は搬送先の医療機関が作成する。そのため、「救急患者記録用紙」を搬入先の医療機関へ提出する。（「5 記録について」参照）
- ※会場内で作成した「予防接種後副反応疑い報告書」は横浜市職員がPMDA（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）及び横浜市に送付する。（医療機関で作成した報告書は医療機関が送付する。）

7 会場に用意している医療資器材

【別紙2】のとおり

■参考資料：

- ・日本アレルギー学会発行『アナフィラキシーガイドライン』
- ・日本アレルギー学会 アナフィラキシー啓発サイト <https://anaphylaxis-guideline.jp/>
- ・マイラン EPD 合同会社発行『エピペン ガイドブック』
- ・日本アレルギー学会発行『新型コロナウイルスワクチン接種にともなう重度の過敏症の管理・診断・治療』
- ・厚生労働省ホームページ『新型コロナワクチンの副反応疑い報告について』
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_hukuhannou-utagai-houkoku.html

【別紙2】 会場に用意している医療資器材

救急カート用（巡回接種6台含む45台想定）

1		
注射剤	生食 500ml (点滴ボトル) @5本	
	アドレナリン： エピペン注射液0.3mg 5本 ポスミン注 1 mg @5本	
	抗ヒスタミン剤 : ポララミン 5 mg @5本	
	抗けいれん剤 : セルシン10mg @5本	
	ステロイド： 水溶性プレドニン10mg @5本	
	シリンジ 5 ml @10本 針 22G @10本	
2		
内服薬	抗ヒスタミン薬	ピラノア錠20mg @5錠
	飲料水 (内服用)	@5本 (ペットボトル)
3		
血管確保用	駆血帯 @2本	
	アルコール綿 @1箱 (2枚×200包)	
	ノンアルコール綿 @1箱 (20包)	
	静脈留置針	@5本 (21G・19mm)
		@5本 (23G・16mm)
		@5本 (24G・19mm)
	点滴セット @3セット (60滴)	
	延長チューブ (三方活栓付き・50cm) @3セット	
固定テープ @3本 (12.5mm×9.1m)、シルキーポア ドレッシング@5枚		
4		
救急カート	救急カート	
5		
その他	聴診器 @5本 (Dr3本+会場1本+カート1本) ※巡回は@1本	
	ペンライト (ロング) @4本 (Dr3本+カート1本) ※巡回は@1本	
	血圧計@2台 (カート1台、会場1台) ※巡回は@1台	
	はさみ@1本	
	パルスオキシメータ (集団接種会場 3台、巡回接種 1台)	
6		
気道確保用	エアウェイ (経口) @大中小×2本ずつ	
	エアウェイ (経鼻) @6.0、7.0、8.0×2本ずつ ※潤滑ゼリー、固定テープ、滅菌ガーゼ用意	
7		
用手 呼吸補助	ディスク蘇生バッグ (アンビュ) 成人用 @1組	
	ジャクソンリース 成人用 @1組	
8		
酸素吸入用	経鼻カニューレ 大人用 @3組	
	酸素マスク (チューブ付) 大人用 @3組	
	酸素ボンベ	

救護室用

9	
その他	タオル @1袋 (12枚) ずつ ホワイト
	次亜塩素酸ナトリウム製剤 500ml (汚染物用) @1本
	点滴スタンド 1本ずつ シルバー ※巡回はなし
	簡易ベッド 1台ずつ ※巡回はなし
	防水シート ※巡回はなし@10枚
	バケツ20L
	ビニール袋

診察用

10	
診察用	舌圧子 (使い捨て、プラ) @1箱ずつ (1本×200袋)
	膿盆 (使い捨て) @10枚ずつ
	聴診器 @5本 (Dr3本+会場1本+カート1本) ※巡回は@1本
	ペンライト (ロング) @4本 (Dr3本+カート1本) ※巡回は@1本
	血圧計@2台 (カート1台、会場1台) ※巡回は@1台

会場資器材等

11	
会場資器材等	フェイスシールド ※予診の必要時及び救急対应用
	サージカルマスク ※全員 (医師、看護師、薬剤師、事務)
	アイソレーションガウン ※救急対応等
	ニトリルグローブ ※ (医師、看護師、薬剤師)
	アルコール手指消毒剤 (1,000ml) @80本
	アルコール綿 (単包、2枚入り)
	ノンアルコール綿 (単包、2枚入り) クロルヘキシジングルコン酸塩液 含浸綿
	注射絆 (20×20mm)
	使い捨てトレイ (PP 250×175mm) ※1/20
	ドライメッシュタオル @10袋 (100枚入り) ※巡回は@1袋
	体温計 (非接触型) 10本ずつ ※巡回は@1本 ※要電池

その他

12	
針刺し事故対応	採血用資材一式 (真空採血管用ホルダー、翼状針、スピッツ等)